

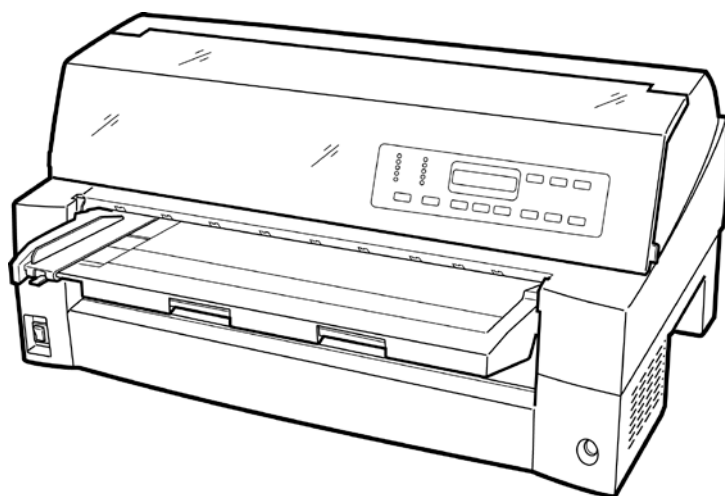
ドットインパクトプリンター

fit7850Pro

fit7650Pro

プリンター装置

取扱説明書(ソフトウェア編)



富士通アイソテック株式会社

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。

特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書はお読みにになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。弊社は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン(株)の登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

● VCCI 適合基準について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

V C C I - B

● 本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムに於ける運行制御、生命維持のための医療機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

● 事業系の使用済製品の引取りとリサイクルについてのお願い

- ・ この製品の所有者が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

- ・ 当社では、富士通アイソテックリサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

● 漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950-1）の漏えい電流基準に適合しております。

● 電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

● コンピュータウィルスに関連する被害の免責について

コンピュータウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 長時間、または大量に印字するときの換気について

換気の悪い部屋で長時間使用するとき、または大量の印字を行うときは、適切な換気を行ってください。

● 有害物質の放散にについて

この製品は、RAL-UZ171 に基づく放散試験に適合しております。

● 騒音について

この製品は、印字中に騒音が発生しますので、事務所とは別室に設置することを推奨します。

はじめに

このたびは、fit7850Pro/fit7650Pro プリンターをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、プリンターが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

2017 年 12 月

● 本文中の略語について

表：製品名称の表記

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	Windows	2016
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials		
Windows® 10 Education (64 ビット版/32 ビット版)		10
Windows® 10 Enterprise (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 10 Pro (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 10 Home (64 ビット版/32 ビット版)		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter		2012 R2
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials		
Windows® 8.1 Enterprise (64 ビット版/32 ビット版)		8.1
Windows® 8.1 Pro (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 8.1 (64 ビット版/32 ビット版)		
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter		2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials		
Windows® 8 Enterprise (64 ビット版/32 ビット版)		8
Windows® 8 Pro (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 8 (64 ビット版/32 ビット版)		
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise		2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard		
Windows® 7 Ultimate (32 ビット版/64 ビット版)		7
Windows® 7 Enterprise (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Professional (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Home Premium (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Starter		
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (32-bit/64-bit)		2008
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit/64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (32-bit/64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (32-bit/64-bit)		

製品名称	本書での表記	
Windows Vista® Ultimate (32 ビット版/64 ビット版)	Windows	Vista
Windows Vista® Enterprise (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows Vista® Business (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows Vista® Home Premium (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows Vista® Home Basic (32 ビット版/64 ビット版)		
Adobe® Reader	Adobe Reader	

● 警告表示マークについて

本書ではいろいろな絵表示をしています。これは製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

 警告	 注意
この記号は、取扱いを誤った場合、死亡または重症を負う事が有り得ること（潜在的な危険状態）を示しています。	この記号は、取扱いを誤った場合、軽傷を負うことがあり得ること（潜在的な危険状態）を示しています。また、正しく使用しない場合、当該製品自体または、その他の財産に、損害が生じる可能性があることのみを示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は分解禁止）が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを抜く）が示されています。
 高温注意	高温による傷害の可能性について記述していることを示します。
 発火注意	発火する可能性について記述していることを示します。
 接触禁止	機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 分解禁止	機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 一般禁止	特定しない一般的な禁止事項を記述していることを示します。
 一般注意	特定しない一般的な注意、警告、危険を記述していることを示します。

安全上のご注意

■ プリンター設置および移動時のご注意



- ・ 同梱の電源コードセットは本製品以外の電気機器には使用しないでください。
また、添付の電源コード以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
- ・ プリンターの上にまたは近くに花瓶・植木鉢・コップなどの水の入った容器、
金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。
- ・ 湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかない
でください。
感電・火災の原因となります。
- ・ 電源プラグは、交流 100V、10A 未満のコンセントには差しこまないでください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ 電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。
 - － 電源コンセントのアース線
 - － 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
 - － 接地工事（D 種（第 3 種））を行っている接地端子アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。
アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ・ 風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンター本体およびパーソナルコンピュータ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電の原因となります。
- ・ オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
感電・火災または故障の原因となります。



注意



- ・ プリンターの開口部（通風孔など）をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ・ プリンターの上に重いものを置かないでください。
また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- ・ 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ・ 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンター内部が高温になり、火災の原因となることがあります。
- ・ このプリンターは突入電流がありますので、無停電電源装置 (UPS) に接続しないでください。
故障の原因となることがあります。
- ・ 矩形波が出力される機器に接続しないでください。
故障の原因となることがあります。



- ・ プリンターを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブル類を外してください。作業を行うときは、足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンターが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ・ プリンターケーブルの抜き差しは、必ずパーソナルコンピュータとプリンターの電源を切ってから行ってください。
電源を切らずに行うと、パーソナルコンピュータやプリンターが故障する原因となることがあります。

■ プリンター使用時のご注意



- ・ 異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
故障の修理は当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『第5章 保守と点検』 「アフターサービス」参照)にご依頼ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしてください。
感電・火災の原因となります。
- ・ プリンターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- ・ 電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。
- ・ 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ・ カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- ・ 開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- ・ プリンターの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。
プラグが変形し、火災の原因となります。



- ・ プリンター本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。
内部の点検、修理は当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『第5章 保守と点検』 「アフターサービス」参照)にご依頼ください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
- ・ プリンターをお客様自身で改造しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



警告



- ・ 万一、プリンターから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンター本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して当社 プリンター相談窓口(プリンター編『第5章 保守と点検』「アフターサービス」参照)にご依頼ください。

お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

- ・ 異物(水・金属片・液体など)がプリンターの内部に入った場合は、ただちにプリンター本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、当社 プリンター相談窓口(プリンター編『第5章 保守と点検』「アフターサービス」参照)にご連絡ください。

そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- ・ プリンターを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンター本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、当社 プリンター相談窓口(プリンター編『第5章 保守と点検』「アフターサービス」参照)にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

- ・ プリンターの清掃および保守、故障の処理を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンターの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



- ・ 電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

- ・ 移動中に落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。



注意



- ・ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。
- ・ プリンターが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。
けがの原因となることがあります。



- ・ 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、感電・火災の原因となることがあります。
- ・ 使用中のプリンターは布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ・ 電源コードを束ねて使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。



- ・ 長期間プリンターを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。
- ・ 近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
入れたままにしておくと、プリンターを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。



- ・ 使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
やけど・けがの原因となることがあります。



注意



- ・ プリンターが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。けがの原因となることがあります。
- ・ プリンターケーブルコネクターや印字ヘッドの金属部には触らないでください。けがやプリンターの故障の原因となることがあります。
- ・ 印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。やけど・けがの原因となることがあります。



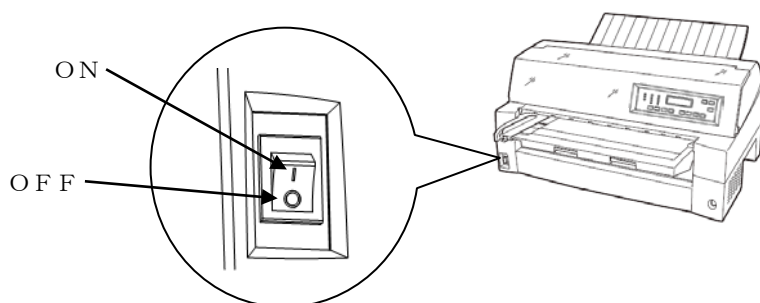
- ・ 連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクターから外れることがありますので注意してください。
- ・ 用紙厚に対して用紙厚調整設定を適正状態で取り扱ってください。
- ・ リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。
- ・ プリンター内部やローラー部に繊維クズがたまっている場合は、定期的に清掃してください。
- ・ リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。リボンがロックして回転できなくなります。
- ・ リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンが絡まったり、リボンの巻取りがロックすることがあります。
- ・ 使用済のリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
- ・ 印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。リボン交換時は温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドをリボン交換位置に移動してください。
- ・ プリンターを廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理ください。

■ 装置上のマークの説明

本製品には、注意ラベル、警告ラベルが貼ってあります。
内容をご覧になり、安全にお使いください。
注意ラベル、警告ラベルは、絶対に剥がしたり、汚したりしないでください。

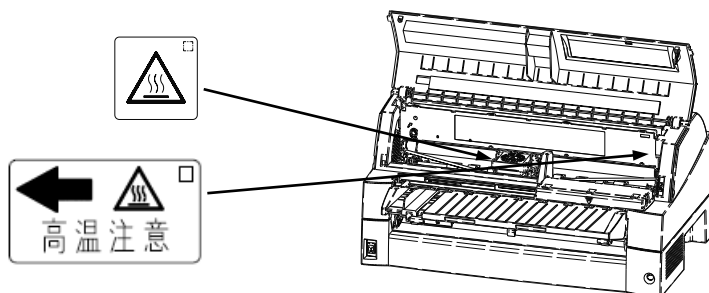
・ 電源スイッチ

プリンターの電源をON (印字可能状態) / OFF (印字不可能状態) にします。



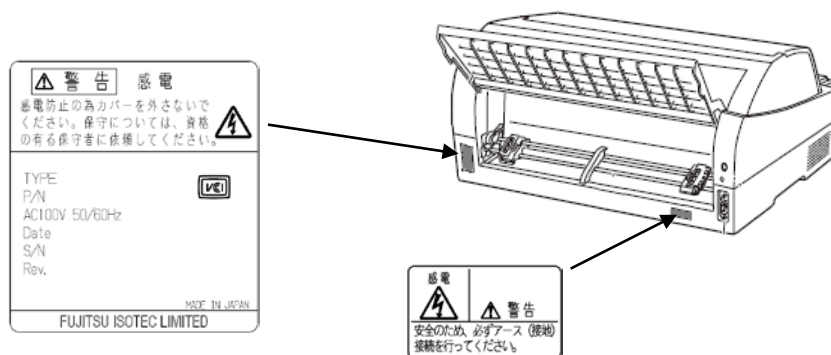
・ 印字ヘッド／駆動モーター

使用中や印字した直後は、印字ヘッドやプリンター内部が高温になります。
温度が下がるまで印字ヘッドやプリンター内部に触れないでください。
けがや、やけどの原因となることがあります。



・ 警告表示

安全のため、カバーを外さないでください。また、必ずアース (接地) 接続を行ってください。
けがややけど、感電の原因となることがあります。





取扱説明書の構成

本プリンターの取扱説明書の構成を以下に示します。

目次		内容
プリンター編		
第1章	お使いになる前に	お使いになる前に知っておいていただきたいこと、設置のしかた、リボンカセットの取付けかた、電源の投入／切断について説明しています。
第2章	プリンターの機能とその使いかた	操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンターのもつ機能と、その使いかたについて説明しています。
第3章	用紙のセット	連続帳票用紙、単票用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印字開始位置の調整のしかたについて説明しています。
第4章	用紙について	このプリンターで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明しています。
第5章	保守と点検	リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかた、テスト印字のしかた、およびアフターサービスなどについて説明しています。
第6章	オプション	このプリンターのオプションの取り付け取り外しをはじめ、基本的な使いかたについて説明しています。
付録	プリンターの概略仕様	プリンターの仕様、コマンド一覧表および文字コード一覧表など、プリンターを使用する上で補助的に必要になることがらについて説明しています。
ソフトウェア編		
第1章	ソフトウェアの概要	プリンターに添付されているソフトウェアの基本的なことがらやインストール方法について説明しています。 また、ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明しています。
第2章	プリンタードライバの設定	プリンタードライバのインストールと設定方法について説明しています。
第3章	fit ステータスモニタ	fit ステータスモニタについて説明しています。
第4章	fit リモートパネル	fit リモートパネルについて説明しています。
付録	fit ステータスモニタ状態表示一覧	fit ステータスモニタ状態表示一覧表を記載しています。



取扱説明書の使いかた

取扱説明書は、Adobe Reader がインストールされたパーソナルコンピュータから次の手順で表示します。

- 1 添付の CD-ROM をパーソナルコンピュータの CD または DVD ドライブにセットする
- 2 エクスプローラで CD-ROM の「Manual」フォルダーにある PDF ファイルをダブルクリックする

プリンター編をお読みにになるときは「INDEX(PRINTER).PDF」、ソフトウェア編をお読みにになるときは「INDEX(SOFTWARE).PDF」をダブルクリックします。PDF 閲覧ソフトウェアが起動し、取扱説明書が表示されます。



ガイド

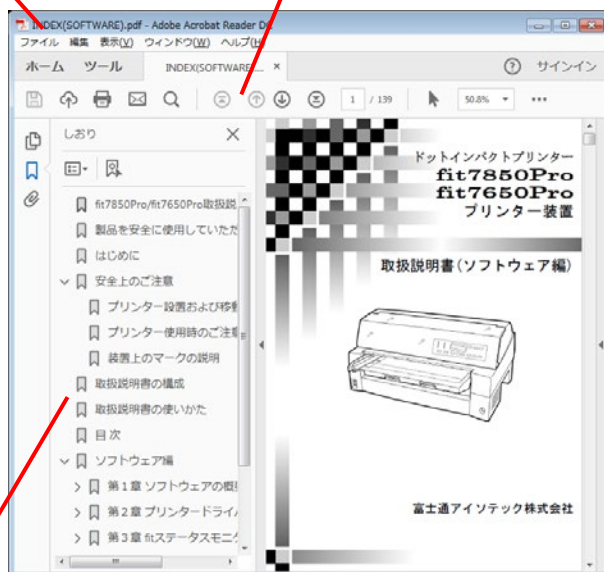
- ・ PDF 閲覧ソフトウェアがインストールされていないときは、閲覧ソフトウェアをインストールしてください。

メニューバー

プルダウンメニューから印字やヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー

↓をクリックすると、次のページを表示します。
また、拡大や検索などの操作を行うことができます。



しおり

見出しをクリックすると、そのページを表示します。

 が表示されている場合、これをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

目次

製品を安全に使用していただくために	
はじめに	i
安全上のご注意	iv
プリンター設置および移動時のご注意	iv
プリンター使用時のご注意	vi
装置上のマークの説明	x
取扱説明書の構成	xi
取扱説明書の使いかた	xii

ソフトウェア編 1

第1章 ソフトウェアの概要 3

添付ソフトウェアの機能	4
添付ソフトウェアの動作環境	7
プリンターの動作環境	8
パーソナルコンピュータとの接続	9
CD-ROM の内容	11
ドットインパクトプリンターセットアップディスク	11
ソフトウェアのインストール	13
プリンタードライバのインストール	14
fit シリーズセットアップを使ったとき	14
インストールする前に	15
プリンタードライバのインストール	16
fit プリンターユーティリティの インストール	28
初めてインストールするとき	29
fit プリンターユーティリティをメンテナンスするとき	33
ソフトウェアのアンインストール	36
プリンタードライバのアンインストール	36
プリンターユーティリティのアンインストール	43
こんなときは	46
テストページが印字されないとき	46
USB インターフェース接続のとき	48
プリンタードライバインストール前に、プリンターと	
パーソナルコンピュータを接続したとき	49
Windows をアップまたはダウングレードするとき	52
セットアップ時のトラブルシューティング	52

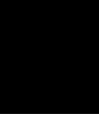
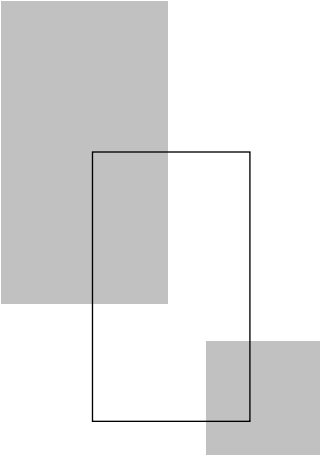
第2章 プリンタードライバの設定 57

プリンタードライバの設定	58
印字可能領域	70
印刷の向き	78
ページの順序	78
ページ形式	78
給紙方法	79

メディア	81
部数・部単位	81
連続紙左端余白	81
上端余白	82
カスタム用紙余白	82
連続紙セットフリー	82
印刷品質	83
排出トレイ	83
濃淡	84
180 度回転	84
ユーザー定義サイズ用紙の作成方法	85
バーコードの印字方法	89
バーコード印字時の注意事項	91
第3章 fit ステータスマニタ	93
fit ステータスマニタのインストール	94
fit ステータスマニタの機能	94
fit ステータスマニタの起動	95
ステータス表示ウィンドウ	96
第4章 fit リモートパネル	99
fit リモートパネルのインストール	100
fit リモートパネルの機能	100
fit リモートパネルの起動	101
プリンターの機能設定	104
付 録	115
fit ステータスマニタ状態表示一覧表	116
索 引	119

ソフトウェア編





第 1 章

ソフトウェアの概要

この章では、プリンターに添付されているソフトウェアの基本的なことがらおよびインストール方法について説明します。

添付ソフトウェアの機能	4
添付ソフトウェアの動作環境	7
プリンターの動作環境	8
パーソナルコンピュータとの接続	9
CD-ROM の内容	11
ドットインパクトプリンターセットアップディスク	11
ソフトウェアのインストール	13
プリンタードライバのインストール	14
fit シリーズセットアップを使ったとき	14
インストールする前に	15
プリンタードライバのインストール	16
fit プリンターユーティリティの インストール	28
初めてインストールするとき	29
fit プリンターユーティリティをメンテナンスするとき	33
ソフトウェアのアンインストール	36
プリンタードライバのアンインストール	36
プリンターユーティリティのアンインストール	43
こんなときは	46
テストページが印字されないとき	46
USB インターフェース接続のとき	48
プリンタードライバインストール前に、プリンターと パーソナルコンピュータを接続したとき	49
Windows をアップまたはダウングレードするとき	52
セットアップ時のトラブルシューティング	52



添付ソフトウェアの機能

本製品には、「ドットインパクトプリンターセットアップディスク」が添付されています。

「ドットインパクトプリンターセットアップディスク」には、以下のソフトウェアが格納されています。

◆ fit シリーズセットアップ

「ドットインパクトプリンターセットアップディスク」をパーソナルコンピュータにセットすると、次の画面が自動的に表示されます。本画面から、プリンタードライバ、LAN カード(オプション: PR-LN4S)設定ツールのインストール、および fit プリンターユーティリティのインストールと、取扱説明書などの表示が行えます。



ガイド

- ・ 上記画面が自動的に表示されないときは、本ディスクを「エクスプローラ」などで開き、一番上の階層にある「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・ 「自動再生」画面が表示されたときは、実行されるプログラムが、「SETUP.EXE」であることを確認し、[SETUP.EXEの実行]をクリックしてください。
- ・ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたときは、[はい]または[許可]をクリックしてください。

◆ プリンタードライバ

Windows 環境でプリンター装置をお使いいただくには、プリンタードライバが必要になります。

fit7850Pro/fit7650Pro プリンター装置では、Windows オペレーティングシステムに対応した、専用のプリンタードライバを用意しています。プリンタードライバのインストール方法および設定方法については、本書「第1章 ソフトウェアの概要」、「第2章 プリンタードライバの設定」をお読みください。

◆ プリンターLAN カード(PR-LN4S) 設定ツール

ネットワーク環境でプリンター装置をお使い頂くには、LAN カード(オプション: PR-LN4S)が必要になります。

LAN カード(PR-LN4S)の IP アドレス設定や、プリンターポート作成を行うソフトウェアをインストールします。

LAN カード設定ツールのインストール方法、および設定方法については、「LAN カード(PR-LN4S)ソフトウェアガイド」をお読みください。

◆ fit プリンターユーティリティ

Windows 環境でプリンター装置をより使いやすくするソフトウェアで、プリンター装置の状態を監視する fit ステータスマニタとプリンター装置の機能設定と消耗品管理を行う fit リモートパネルがあります。



ガイド

- ・プリンターユーティリティをお使いになるときは、プリンタードライバの双方向通信機能を有効に設定しておく必要があります。
- ・fit プリンターユーティリティは、パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合や、パラレル/USB→LAN など変換アダプターとの組み合わせでは、動作しません。

Ofit ステータスマニタ

「fit ステータスマニタ」は、パーソナルコンピュータとプリンター間での双方向通信機能を利用して動作するユーティリティです。

「fit ステータスマニタ」は、パラレル、USB または LAN (オプション: PR-LN4S 使用時) インターフェースで動作します。

「fit ステータスマニタ」をパーソナルコンピュータにインストールし起動すると、プリンターにエラーが発生したときにパーソナルコンピュータの画面にエラー情報、対処方法がポップアップ表示されます。

「fit ステータスマニタ」のインストール方法および機能については、「fit プリンターユーティリティのインストール」(7ページ)、「第3章 fit ステータスマニタ」(93 ページ)をお読みください。

Ofit リモートパネル

「fit リモートパネル」とは、プリンターの機能設定および、消耗品の管理を行うことができるユーティリティソフトウェアです。

「fit リモートパネル」は、パラレル、USB または LAN (オプション: PR-LN4S 使用時) インターフェースで動作します。

「fit リモートパネル」は、パーソナルコンピュータとプリンター間での双方向通信機能を利用して動作します。

「fit リモートパネル」のインストール方法および機能については、「fit プリンターユーティリティのインストール」(7ページ)、「第4章 fit リモートパネル」(99 ページ)をお読みください。



添付ソフトウェアの動作環境

対象機種	対応オペレーティングシステム
FMV シリーズ 各社 DOS/V 互換機	Windows Server 2016 (日本語版)
	Windows 10 (日本語版)
	Windows Server 2012 R2 (日本語版)
	Windows 8.1 (日本語版)
	Windows Server 2012 (日本語版)
	Windows 8 (日本語版)
	Windows Server 2008 R2 (日本語版)
	Windows 7 (日本語版)
	Windows Server 2008 (日本語版)
	Windows Vista (日本語版)

注意事項

- 対応オペレーティングシステムについて
モバイルや RT、Server Core など、一部のエディションには対応していません。
- パーソナルコンピュータの BIOS 設定について
本プリンターを接続するパーソナルコンピュータの平行ポート設定は必ず「Bidirectional (双方向)」にしてご使用ください。確認および設定の方法については、パーソナルコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- USB 接続
本プリンターの USB インターフェースは、USB2.0 仕様です。本プリンターを接続するパーソナルコンピュータが USB 機器に対応していることを確認してください。確認方法は、パーソナルコンピュータの取扱説明書を参照してください。



プリンターの動作環境

- fit7850Pro/fit7650Pro プリンタードライバは、モノクロ専用のプリンタードライバです。
- Citirx® XenDesktop®/XenApp® 環境で運用する場合には、添付 CD-ROM 内の指定プリンタードライバを使用してください。
詳細は、CD-ROM 内のルートにある Readme. txt を参照してください。



パーソナルコンピュータとの接続

パーソナルコンピュータとプリンターの接続方法、およびプリンタードライバのインストール手順は、接続するインターフェースによって異なります。



ガイド

- ・ fit7850Pro/fit7650Pro プリンタードライバは、他機種のプリンターで使用することはできません。また同様に、多機種用のプリンタードライバを本プリンターで使用することはできません。
- ・ 本プリンターは、次のオプション品によりパーソナルコンピュータとの LAN 接続が可能です。
 - 1) LAN カード(オプション: PR-LN4S)
LAN カードの取り付け方法は、『プリンター編』「第6章 オプション」、ソフトウェアについては、LAN カード(オプション: PR-LN4S)のソフトウェアガイドをお読みください。

○パラレルインターフェースによる接続

- ・ パーソナルコンピュータ
双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
- ・ オペレーティングシステム
本章の「添付ソフトウェアの動作環境（7ページ）」をお読みください。
- ・ セットアップ方法
プリンタードライバのセットアップ方法は、本章の「プリンタードライバのインストール（14ページ）」をお読みください。

○USB による接続

- ・ パーソナルコンピュータ
USB2.0 インターフェースを内蔵する PC/AT 互換機
- ・ オペレーティングシステム
本章の「添付ソフトウェアの動作環境（7ページ）」をお読みください。
- ・ セットアップ方法
プリンタードライバのセットアップ方法は、本章の「プリンタードライバのインストール（14ページ）」をお読みください。

OLANによる接続

- パーソナルコンピュータ
10BASE-T/100BASE-TX をサポートする PC/AT 互換機
- オペレーティングシステム
本章の「添付ソフトウェアの動作環境（7ページ）」をお読みください。
- セットアップ方法
プリンタードライバのセットアップ方法は、本章の「プリンタードライバのインストール（14ページ）」をお読みください。
LAN カード(オプション: PR-LN4S)のセットアップ方法は、「LAN カード(PR-LN4S)ソフトウェアガイド」をお読みください。



CD-ROM の内容

■ ドットインパクトプリンターセットアップディスク

「ドットインパクトプリンター セットアップディスク」は以下の内容になっています。

プリンタードライバの Readme.txt には、プリンタードライバに関する補足情報や、最新情報が記載されています。プリンタードライバをお使いになるときは、必ずお読みください。

セットアップディスク

— README.TXT	プログラムの説明が書かれているファイルです。 はじめにお読みください。
— AUTORUN.INF	SETUP.EXE の自動実行ファイルです。
— SETUP.EXE	fit7000Pro シリーズのセットアッププログラムです。
— FITSETUP.INI	fit7000Pro シリーズのセットアッププログラムの情報ファイルです。
— DRIVERS	プリンタードライバが格納されているフォルダーです。
— README.TXT	プリンタードライバ共有設定補足情報ファイルです。
— fit7X50Pro	fit7850Pro/fit7650Pro/fit7450Pro プリンタードライバ格納フォルダーです。
— README.TXT	プリンタードライバの補足情報ファイルです。
— WINDRV	通常の Windows 環境用のプリンタードライバ格納フォルダーです。
— VIRTUAL	Citrix®製品環境用のプリンタードライバ格納フォルダーです。
— UTILITY	fit プリンターユーティリティ格納フォルダーです。
— fit7X50Pro	fit7850Pro/fit7650Pro/fit7450Pro プリンターユーティリティ格納フォルダーです。
— SETUP.EXE	fit7850Pro/fit7650Pro/fit7450Pro プリンターユーティリティのセットアッププログラムです。 fit ステータスマニタと fit リモートパネルがインストールされます。
— PR-LN4S	LAN カード (PR-LN4S) 設定ツール格納フォルダーです。
— SETUP.EXE	LAN カード (PR-LN4S) 設定ツールのセットアッププログラムです。 LAN カード (PR-LN4S) 設定ツールがインストールされます。

└─ MANUAL	PDF 形式の取扱説明書が格納されているフォルダーです。
└─ fit7850Pro_7650Pro	
└─ INDEX (PRINTER). PDF	fit7850Pro/fit7650Pro プリンターの取扱説明書(プリンター編)です。
└─ INDEX (SOFTWARE). PDF	fit7850Pro/fit7650Pro プリンターの取扱説明書(ソフトウェア編)です。
└─ fit7450Pro	
└─ INDEX (PRINTER). PDF	fit7450Pro プリンターの取扱説明書(プリンター編)です。
└─ INDEX (SOFTWARE). PDF	fit7450Pro プリンターの取扱説明書(ソフトウェア編)です。
└─ PR-LN4S	
└─ PR-LN4S_SOFTWAREGUIDE. PDF	LAN カード PR-LN4S のソフトウェアガイドです。



ソフトウェアのインストール

「ドットインパクトプリンター セットアップディスク」にはプリンタードライバと LAN カード(オプション: PR-LN4S)設定ツール、および fit プリンターユーティリティが格納されています。

インストールは、

1. LAN カードの設定とプリンターポートの作成
※LAN カード (PR-LN4S) 使用時
2. プリンタードライバのインストール
3. fit プリンターユーティリティのインストール

の順に行ってください。



プリンタードライバのインストール

■ fit シリーズセットアップを使ったとき

プリンタードライバは、セットアッププログラムを使用してインストールします。



ガイド

- ・上記画面が自動的に表示されないときは、本ディスクを「エクスプローラ」などで開き、一番上の階層にある「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・「自動再生」画面が表示されたときは、実行されるプログラムが、「SETUP.EXE」であることを確認し、[SETUP.EXEの実行]をクリックしてください。
- ・「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたときは、[はい]または[許可]をクリックしてください。

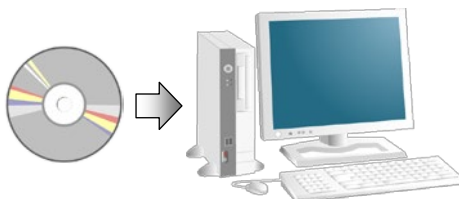
■ インストールする前に

- ・ インストールを行う際には、必ず Administrator 権限をもったアカウントでログインしてください。
- ・ 異なる版数のプリンタードライバ、プリンターユーティリティがインストールされている場合は、アンインストール(削除)してからセットアップしてください。アンインストール(削除)方法は、「プリンタードライバのアンインストール」(36ページ)を参照してください。
- ・ 64 ビット版 Windows オペレーティングシステムをお使いのときも、本書記載の方法でインストールしてください。
- ・ LAN 環境でプリンターをお使いになるときは、あらかじめ接続するネットワークポートを作成してから本セットアッププログラムを実行してください。ネットワークポートの作成方法は、Windows オペレーティングシステムのヘルプ、および LAN カード(オプション: PR-LN4S)のソフトウェアガイドを参照してください。
- ・ プリンタードライバをインストールする前に、パラレルインターフェースや USB インターフェースで接続すると、プリンターの電源を入れたときやパーソナルコンピュータを再起動したときに、プリンタードライバのインストールを求める画面や、「デバイスドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」などのメッセージが表示される場合があります。そのときは、「こんなときは」(46ページ)を参照してください。
- ・ プリンタードライバのインストール中に、エラーメッセージが表示されたときは、「こんなときは」(46ページ)を参照してください。
- ・ 「プリンターの追加」ウィザードを使ったプリンタードライバのインストール方法は、CD-ROM 内の README.TXT をご覧ください。

■ プリンタードライバのインストール

プリンタードライバは、下記手順でインストールします。

1 「ドットインパクトプリンターセットアップディスク」をパーソナルコンピュータの CD または DVD ドライブにセットする



ガイド

- ・「自動再生」ウィンドウが表示されたときは、実行されるプログラムを確認し、[SETUP.EXE の実行]をクリックします。



- ・ Windows 8 以降の Windows オペレーティングシステムでは、セットアップディスクをパーソナルコンピュータの CD または DVD ドライブにセットすると、「タップして、リムーバブルドライブに対して行う操作を選んでください。」、または「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」の画面が表示されます。このメッセージをクリックして表示される画面で、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択すると、デスクトップ画面に切り替わり、セットアップディスクの一番上の階層が表示されますので、「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。
このメッセージ画面はしばらくすると消えてしまいます。そのときは、「エクスプローラー」などを使用して CD または DVD ドライブを開き、一番上の階層にある「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・ 本セットアッププログラムが自動的に表示されないときは、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある SETUP.EXE をダブルクリックしてください。
- ・ セットアッププログラムを当社ホームページからダウンロードしたときは、ダウンロードデータを展開したフォルダー内の SETUP.EXE をダブルクリックしてください。
- ・ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたときは、[はい]または[許可]をクリックしてください。

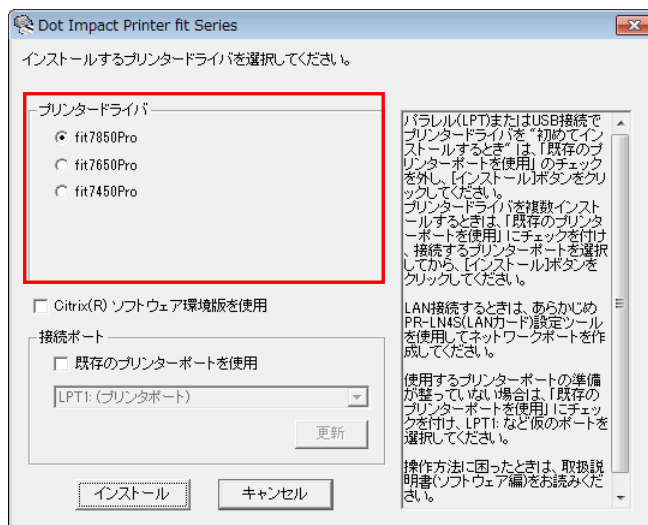
2 [プリンタードライバのインストール]をクリックする



3 「インストールするプリンタードライバを選択してください。」の画面で、使用するプリンタードライバを選択する

パラレル、または USB 接続で、プリンタードライバを初めてインストールするときは、手順 4 に進みます。

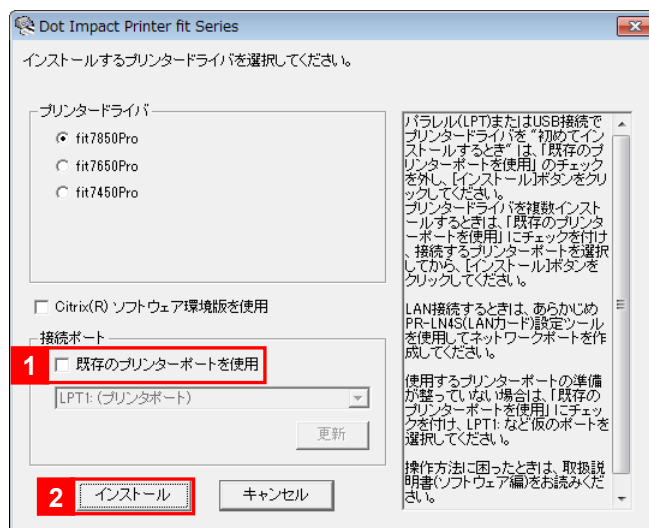
給紙口や用紙サイズなどプリンタードライバを切り替えて仕様するときは、手順 10 に進みます。



ガイド

- ・Citrix® ソフトウェア環境版のプリンタードライバを使用するときは、「Citrix® ソフトウェア環境版を使用」にチェックを付けます。尚、プリンターユーティリティは、Citrix® ソフトウェア環境版プリンタードライバとの組み合わせでは動作しません。

4 [既存のプリンターポートを使用]のチェックが外れていることを確認し、[インストール]をクリックする

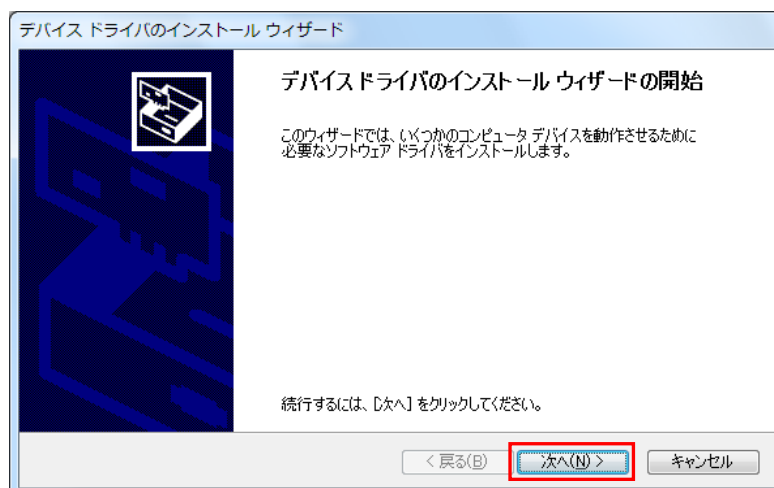


5 インストール中を示す画面が表示される

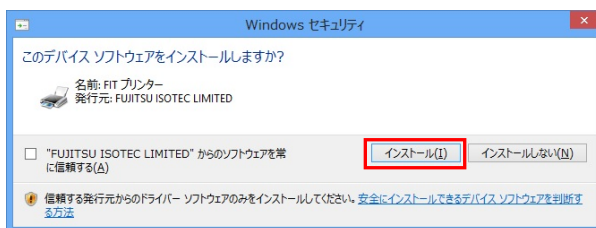
手順 6 の画面が表示されるまでお待ちください。



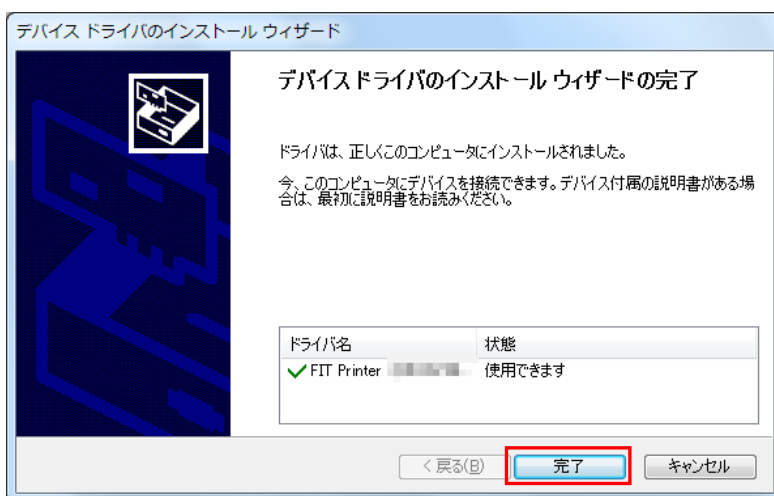
6 [次へ]をクリックする



7 インストールの確認を求める画面が表示されたら、[インストール]をクリックする



8 [完了]をクリックする



9 [OK]をクリックする

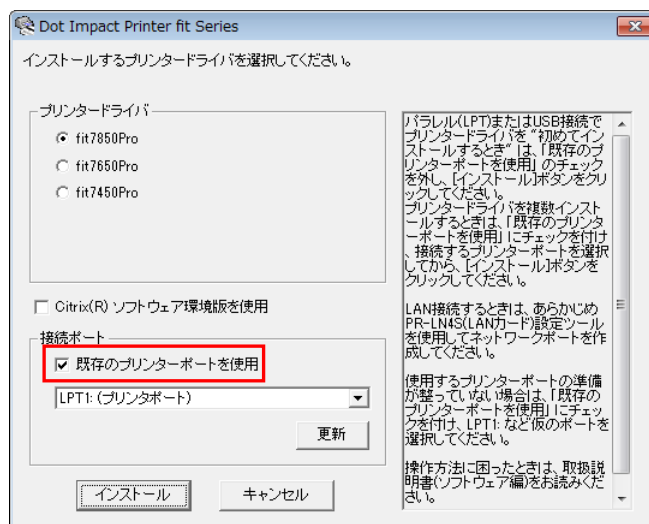
手順 17 に進みます。



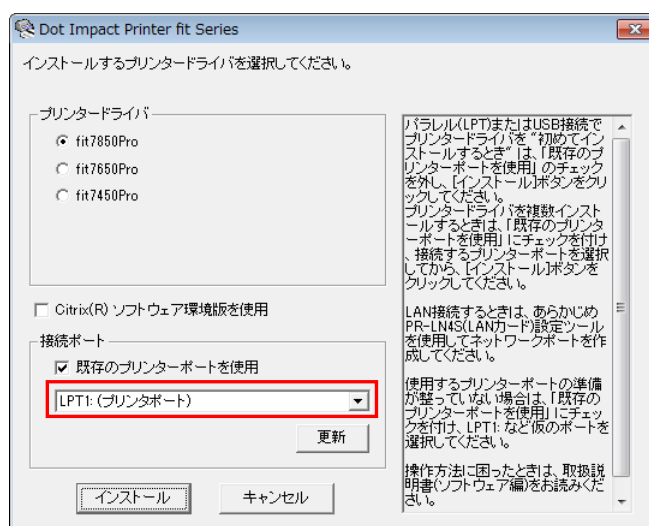
ガイド

- ・ [OK]をクリックすると、手順 2 画面に戻りますので、[終了]をクリックします。

10 [既存のプリンターポートを使用]にチェックを付ける



11 プリンターと接続するインターフェースを、一覧から選択する



ガイド

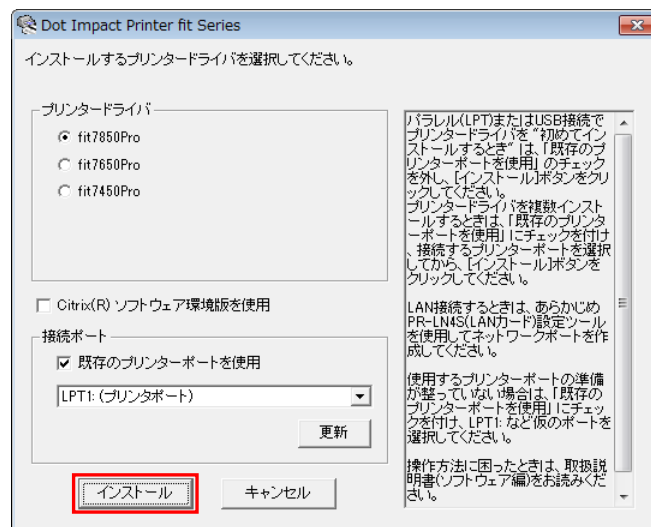
- ▼ をクリックすると、お使いのオペレーティングシステムに登録されているプリンターと接続可能なインターフェースポートが一覧表示されます。
- [更新]ボタンをクリックすると、接続ポート情報を更新します。最新のポート情報を取得するときは、本ボタンをクリックしてください。
- どのインターフェースを使用するかは、パーソナルコンピュータやプリンターが備えるインターフェースによって変わります。お使いのパーソナルコンピュータやプリンターに適合したインターフェースを選択してください。

- ・ USB ポートは新しく作成されるたびに番号(USB に続く 3 桁の数値)が大きくなります。USB インターフェースで接続ポートの指定に迷ったときは、一番大きな番号のポートを選択してください。

プリンタードライバインストール後、印字が行えないなどの現象が発生したときは、「こんなときは」(46ページ)を参照してください。

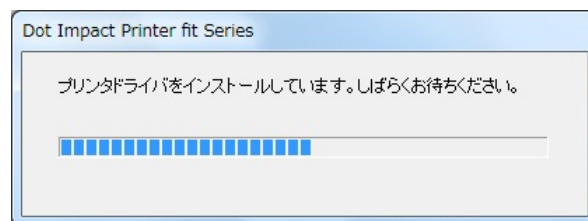
- ・ 本プログラムから、LPR ポートを指定してプリンタードライバをインストールすることはできません。
LPR ポートを使用して印字するときは、仮のポートを指定してプリンタードライバをインストールしてください。インストールが終了したらプリンターのプロパティの「ポート」シートで、印字するポートの設定を変更してください。
- ・ 使用するポートの準備が整っていないときは、仮のポートとして、LPT1: (プリンターポート)などを選択してください。

12 [インストール]をクリックする



13 インストール中を示す画面が表示される

インストールが完了するまでお待ちください。



14 インストールの確認を求める画面が表示されたら、[インストール]をクリックする



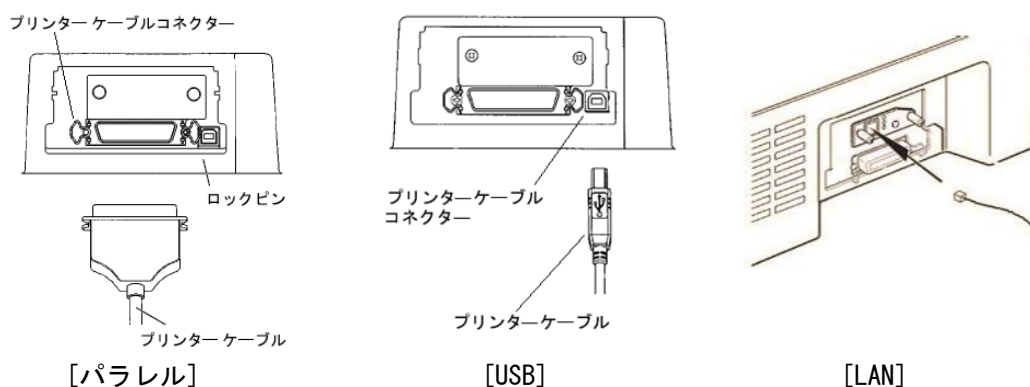
15 [OK]をクリックする



ガイド

- ・ [OK]をクリックすると、手順 2 画面に戻りますので、[終了]をクリックします。

16 プリンターとパーソナルコンピュータを接続する

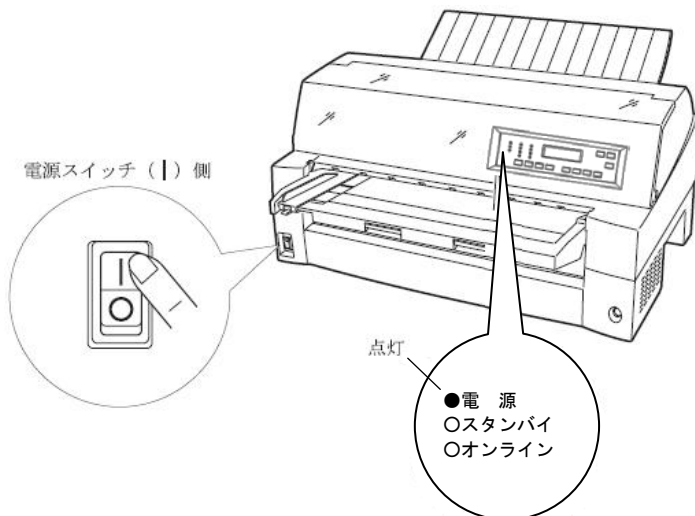


ガイド

- ・ プリンターとパーソナルコンピュータを接続する方法については、取扱説明書(プリンター編)の「第 1 章 お使いになる前に」-「プリンターを設置する」-「パーソナルコンピュータとの接続」、または、LAN カード(オプション: PR-LN4S)のソフトウェアガイドを参照してください。
- ・ LAN 接続のときは、手順 22 進みます。

17 プリンターの電源を入れる

トップカバーが閉じていることを確認して、プリンターの前面にある電源スイッチを（|）側に倒します。

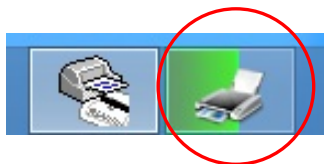


ガイド

- ・ Windows 8 / Server 2012 以降の Windows オペレーティングシステムの場合は、手順 18 に進みます。
- Windows 7 / Server 2008 R2 以前の Windows オペレーティングシステムの場合は、手順 20 に進みます。

18 インストール中を表すアイコンを確認する

プリンターアイコンが消えるまで、お待ちください。

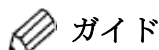


ガイド

- ・ 上記画面が表示されないときは、パーソナルコンピュータを再起動してください。シャットダウン(電源切断)し、再度起動する操作でもかまいません。
- ・ 再起動する際、編集集中のファイルがあるときは、保存操作を行ってください。

- 19** [Windows]キーを押しながら[X]キーを押し、画面左下に表示されるメニューから、「コントロールパネル」を選択する
「コントロールパネル」が表示されたら、「デバイスとプリンターの表示」を選択する

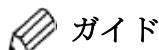
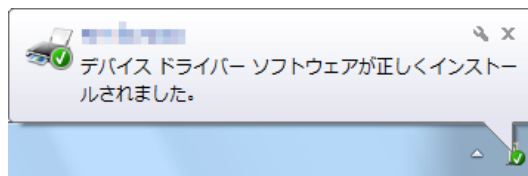
手順 22 に進みます。



ガイド

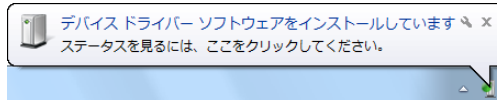
- Windows 10, Version 1703 以降のときは、[スタート]→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]を選択します。

- 20** 下記メッセージが表示されることを確認する



ガイド

- Windows Vista / Server 2008 / 7 / Server 2008 R2 では、上記画面に先立って、下記画面が表示されます。



- 上記画面が表示されないときは、パーソナルコンピュータを再起動してください。シャットダウン(電源切断)し、再度起動する操作でもかまいません。
- 再起動する際、編集集中のファイルがあるときは、保存操作を行ってください。

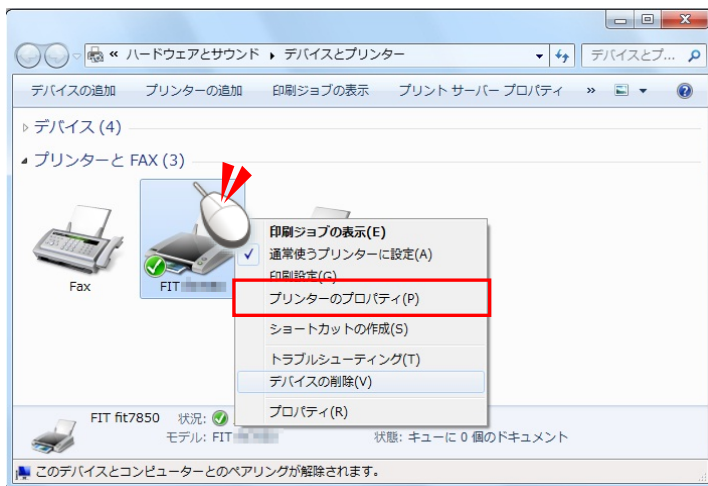
21 → [デバイスとプリンター]を選択し、プリンターフォルダーを開く



ガイド

- ・プリンターフォルダーを開く方法は、Windows オペレーティングシステム毎に異なります。
 - Windows Server 2008 R2 のとき
 スタート → [デバイスとプリンター]を選択します。
 - Windows Vista / Server 2008 のとき
 または  スタート → [コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]内にある[プリンタ]を選択します。

22 インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、表示メニューから「プリンターのプロパティ」をクリックする

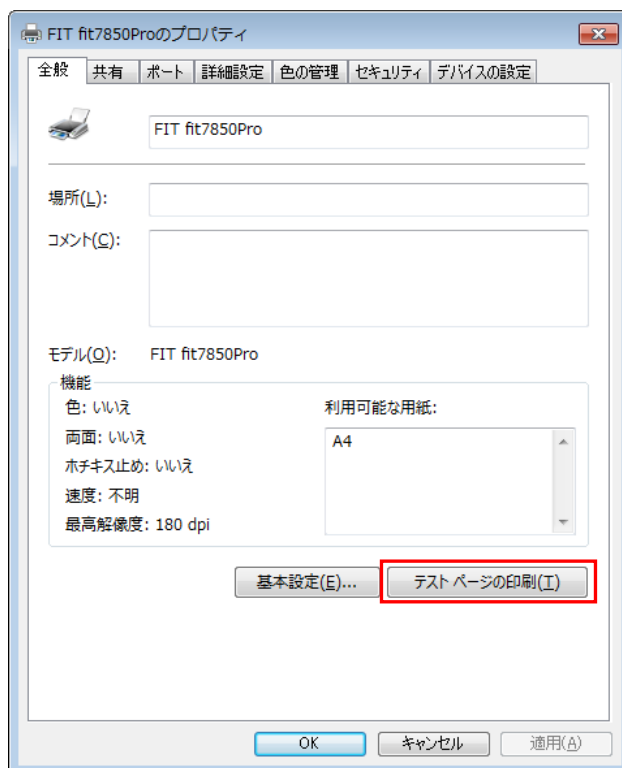


ガイド

- ・プリンターフォルダーを開く方法は、Windows オペレーティングシステム毎に異なります。
 - － Windows 7 / Server 2008 R2 以降のとき
インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、表示メニューから「プリンターのプロパティ」を選択します。
 - － Windows Vista / Server 2008 のとき
インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、表示メニューから「管理者として実行」→「プロパティ」を選択します。
ビルトインの Administrator アカウント、または[ユーザーアカウント制御(UAC)]が[無効]のときは、表示メニューの[プロパティ]を選択します。

23 プリンターがオンラインであることを確認し、[テストページの印刷]をクリックする

これでプリンタードライバのインストールは完了です。



ガイド

- ・手順 11 で仮のポートを指定したときは、「ポート」シートで印字に使用するポートの設定を変更してからテストページを印字してください。
- ・プリンタードライバの初期値は、「給紙方法: 自動選択」, 「用紙サイズ: A4」となっていますので、A4 単票を準備の上、テストページを印字してください。
- ・初期値以外の用紙を使用するときは、設定を変更した後で、テストページを印字してください。
- ・正しくテストページの印字が行われなかったときは、「こんなときは」(46ページ)を参照してください。



fit プリンターユーティリティの インストール

fit ステータスマニタおよび fit リモートパネルのインストールは以下の手順で行います。

fit プリンターユーティリティの機能については、「ソフトウェア編」の「第3章 fit ステータスマニタ」、「第4章 fit リモートパネル」を参照してください。



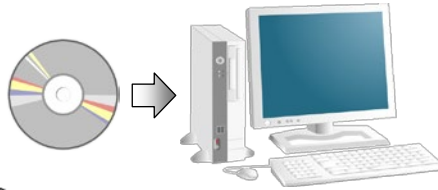
ガイド

- ・本ユーティリティの対応オペレーティングシステムは、「添付ソフトウェアの動作環境（7ページ）」を参照してください。
- ・fit7850Proプリンタードライバやfit7650Proプリンタードライバがインストールされていない場合、本ユーティリティをインストールすることはできません。必ずお使いのプリンターに合ったプリンタードライバを先にインストールしてから、ソフトウェアのインストールを行ってください。
- ・本ユーティリティをインストールとき、「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示される場合がありますので、「許可」または「はい」をクリックしてください。
- ・インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。

■ 初めてインストールするとき

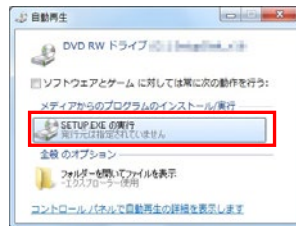
fit プリンターユーティリティを初めてインストールするときは、以下の手順で行います。

1 添付の「ドットインパクトプリンターセットアップディスク」をパーソナルコンピュータの CD または DVD ドライブに挿入する



ガイド

- ・「自動再生」ウィンドウが表示されたときは、実行されるプログラムを確認し、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。

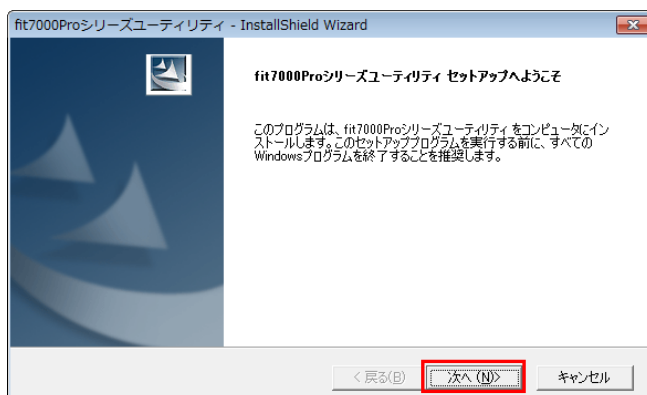


- ・ Windows 8 以降の Windows オペレーティングシステムでは、セットアップディスクをパーソナルコンピュータの CD または DVD ドライブにセットすると、「タップして、リムーバブルドライブに対して行う操作を選んでください。」、または「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」の画面が表示されます。このメッセージをクリックして表示される画面で、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択すると、デスクトップ画面に切り替わり、セットアップディスクの一番上の階層が表示されますので、「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。このメッセージ画面はしばらくすると消えてしまいます。そのときは、「エクスプローラ」などを使用して CD または DVD ドライブを開き、一番上の階層にある「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・ 本セットアッププログラムが自動的に表示されないときは、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある SETUP.EXE をダブルクリックしてください。
- ・ セットアッププログラムを当社ホームページからダウンロードしたときは、ダウンロードデータを展開したフォルダー内の SETUP.EXE をダブルクリックしてください。
- ・ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたときは、[はい]または[許可]をクリックしてください。

2 「プリンターユーティリティのインストール」ボタンをクリックする

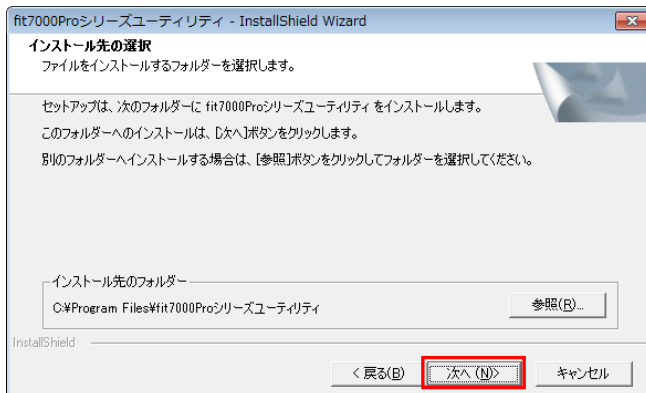


3 内容を確認し、「次へ」をクリックする



4 プログラムをインストールするフォルダーを指定する

フォルダーを指定したら、〔次へ〕をクリックします。

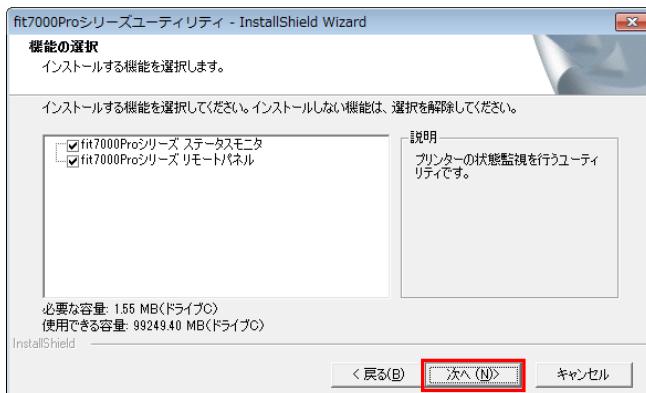


ガイド

- ・ [参照] をクリックすると、インストール先のフォルダーを変更することができます。

5 インストールするプリンターユーティリティを確認し、〔次へ〕をクリックする

〔次へ〕をクリックすると、インストールが開始されます。

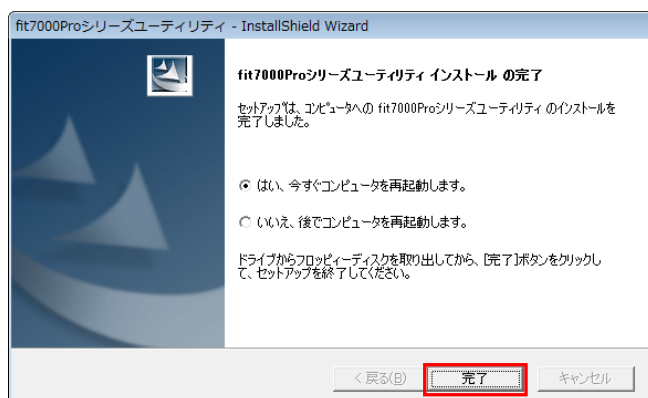


ガイド

- ・ 初期値では、全てのプリンターユーティリティがインストールされます。必要に応じ、インストールしないプリンターユーティリティのチェックを解除してください。

6 「完了」ボタンをクリックする

これで fit プリンターユーティリティ (fit ステータスマニタ、fit リモートパネル) のインストールは終了です。



ガイド

- ・「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックすると、パーソナルコンピュータを再起動します。編集集中のファイルがあるときは、保存操作を行ってください。
- ・セットアッププログラムは、プリンターユーティリティのセットアッププログラムを起動すると、手順 2 画面に戻ります。プリンターユーティリティのセットアップが完了したら、[終了]をクリックします。

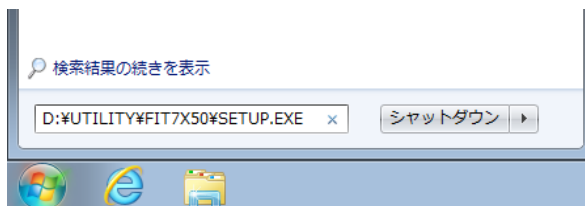


■ fit プリンターユーティリティをメンテナンスするとき

インストールされている fit プリンターユーティリティをメンテナンス（プログラムの変更・修正・削除）するときは、以下の手順で行います。

- 1 fit プリンターユーティリティ（fit ステータスマニタ、fit リモートパネル）を終了する
- 2 添付の「ドットインパクトプリンターセットアップディスク」をパーソナルコンピュータの CD または DVD ドライブに挿入する
- 3 スタートメニューから〔ファイル名を指定して実行（R）〕をクリックする

<名前>に「D:¥UTILITY¥FIT7X50¥SETUP.EXE」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥UTILITY¥FIT7X50¥SETUP.EXE」を選択します。入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。

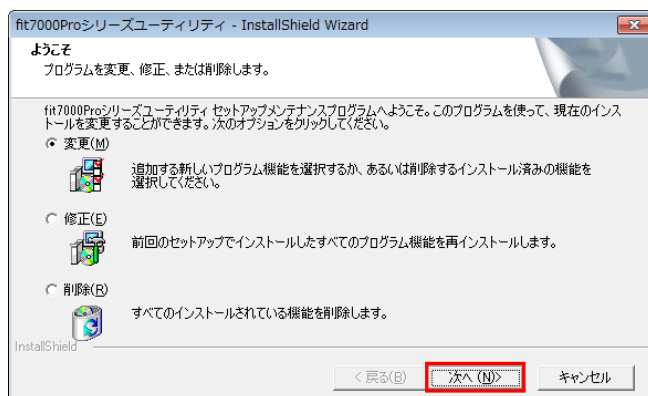


ガイド

- ・〔ファイル名を指定して実行〕を選択する方法は、Windows オペレーティングシステム毎に異なります。
 - Windows 8 / Server 2012 以降の Windows オペレーティングシステムするとき
[Windows]キーを押しながら[X]キーを押し、画面左下に表示されるメニューから、〔ファイル名を指定して実行〕を選択します。
 - Windows 7 / Server 2008 R2 のとき
スタートボタンをクリックし、スタートメニューの〔プログラムとファイルの検索〕を選択します。
 - Windows Vista / Server 2008 R2 のとき
スタートボタンをクリックし、スタートメニューの〔検索の開始〕を選択します。

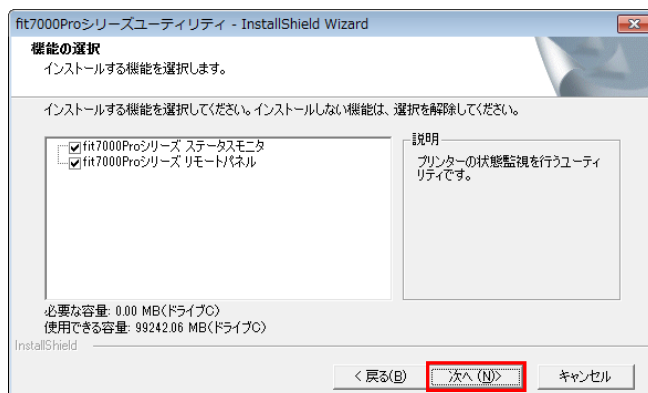
4 オプション選択する

インストール済みの fit プリンターユーティリティを変更するときは、「変更」を選択し、「次へ」をクリックします。→手順 5 へ進みます。前回と同じプログラムを再インストールするときは、「修正」を選択し、「次へ」をクリックします。fit プリンターユーティリティの再インストールが開始されます。→手順 7 へ進みます。インストールされている fit プリンターユーティリティを削除するときは、「削除」を選択し、「次へ」をクリックします。→手順 6 へ進みます。



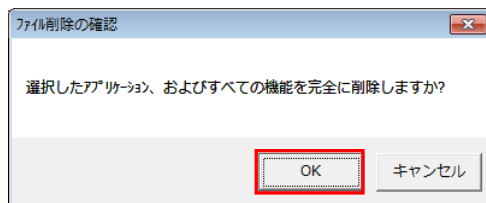
5 変更するプログラムを選択して、「次へ」をクリックする

チェックを付けると、プログラムが追加されます。
チェックを外すと、プログラムは削除されます。
「次へ」をクリックすると、プログラムの変更が開始されます。
→手順 7 へ進みます。



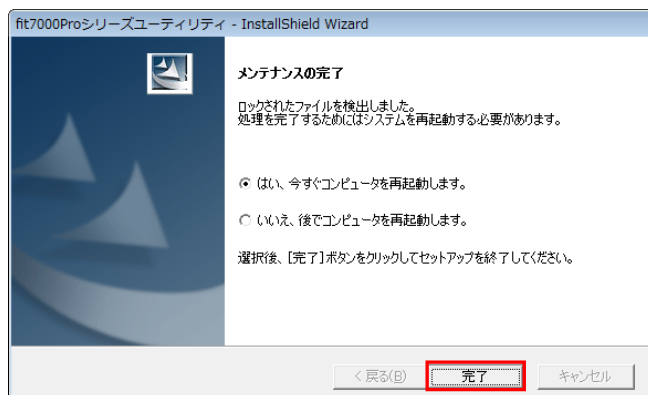
6 [OK] をクリックする

プログラムのアンインストールが開始されます。



7 [完了] をクリックする

これで fit プリンターユーティリティ (fit ステータスマニタ、fit リモートパネル) のメンテナンスは終了です。



ガイド

- ・「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックすると、パーソナルコンピュータを再起動します。編集集中のファイルがあるときは、保存操作を行ってください。



ソフトウェアのアンインストール

■ プリンタードライバのアンインストール

プリンタードライバのアンインストールは、以下の手順で行います。



ガイド

- ・プリンタードライバをアンインストールするときは、プリンタードライバが未使用であることを確認してください。
印字中のときは、印字ジョブをキャンセルするか、印字が完了するまでお待ちください。

◆ Windows 7 / Server 2008 R2 以降の Windows オペレーティングシステムするとき



ガイド

- ・ここでは、Windows 7 Professional の画面で説明します。
- ・[ユーザーアカウント制御]ウィンドウが表示されたときは、[はい]をクリックしてください。

1 → [デバイスとプリンター]を選択する



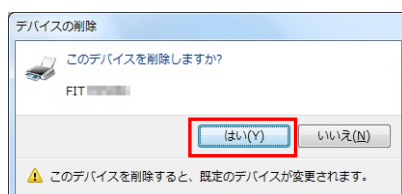
ガイド

- ・Windows Server 2008 R2 のときは、 スタート → [デバイスとプリンター]を選択します。
- ・Windows 8 以降の Windows オペレーティングシステムの場合は、[Windows]キーを押しながら[X]キーを押し、画面左下に表示されるメニューから、[コントロールパネル]を選択します。
※ Windows 10, Version 1703 以降のときは、[スタート]→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]を選択します。
[コントロールパネル]が表示されたら、[ハードウェアとサウンド]部(または、[ハードウェア]部)にある、[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

- 2 「プリンターと FAX」 部にある、削除するプリンターのアイコンを右クリックし、表示メニューから「デバイスの削除」をクリックする



- 3 「はい」 をクリックする



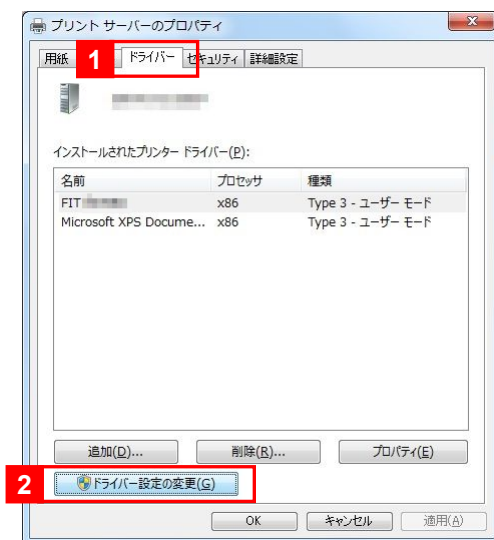
- 4 「Fax」や「Microsoft XPS Document Writer」などインストールされているプリンターをクリックしてから、「プリントサーバーのプロパティ」をクリックする



ガイド

- ・ お使いの環境によっては、メニューが集約されている場合があります。>> をクリックすると表示されます。

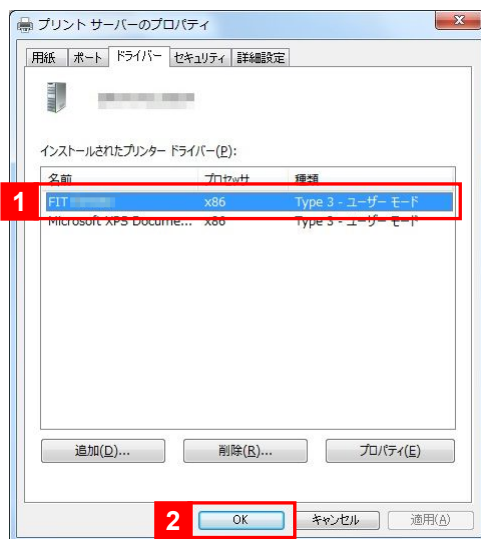
5 「ドライバー」シートに移動して、[ドライバー設定の変更]をクリックする



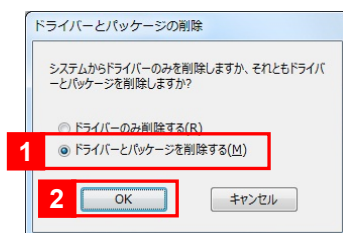
ガイド

- ・お使いの環境によっては、[ドライバー設定の変更]ボタンが表示されていない場合があります。次の手順に進みます。

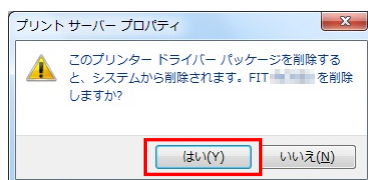
6 「インストールされたプリンタードライバー」の一覧から、削除するプリンタードライバを選択し、[削除]をクリックする



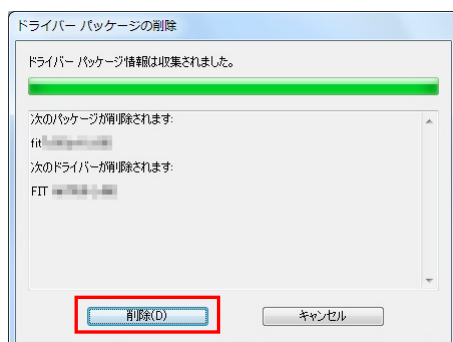
7 「ドライバーとパッケージを削除する」を選択し、[OK]をクリックする



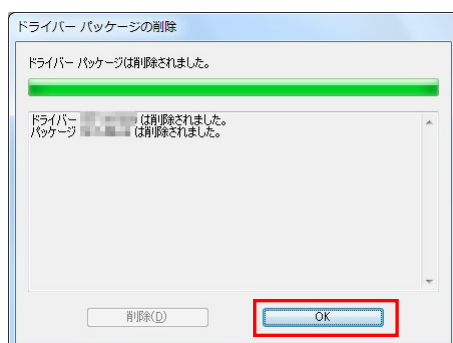
8 [はい]をクリックする



9 [削除]をクリックする



10 [OK]をクリックする

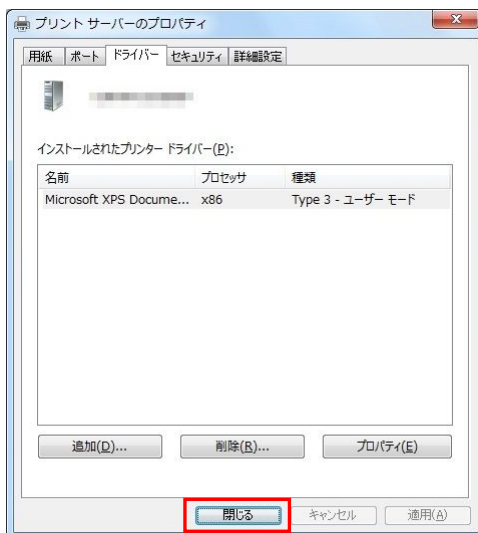


ガイド

- ・「指定されたプリンタードライバーは現在、使用中です。」と表示されたときは、パーソナルコンピュータを再起動して、再度プリンタードライバの削除を行ってください。

11 [閉じる]をクリックし、「プリントサーバーのプロパティ」を閉じる

これでプリンタードライバのアンインストール(削除)は完了です。
プリンターの電源を切って、パーソナルコンピュータを再起動します。



◆ Windows Vista / Server 2008 とき



ガイド

- ・ここでは、Windows Vista Business の画面で説明します。
- ・[ユーザーアカウント制御]ウィンドウが表示されたときは、[はい]をクリックしてください。

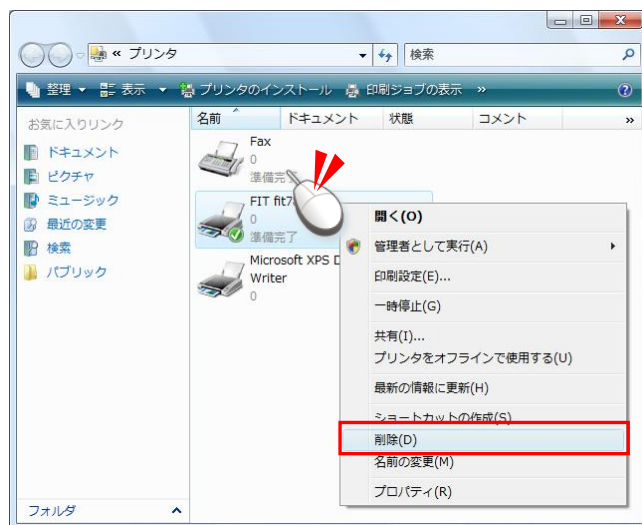
1 → [コントロールパネル]を選択し、「ハードウェアとサウンド」内にある、「プリンタ」を選択する



ガイド

- ・Windows Server 2008 のときは、 スタート → [コントロールパネル]を選択します。

2 「プリンタ」部にある、削除するプリンターのアイコンを右クリックし、表示メニューから「削除」をクリックする



3 確認ウィンドウが表示されたら、[はい]をクリックする

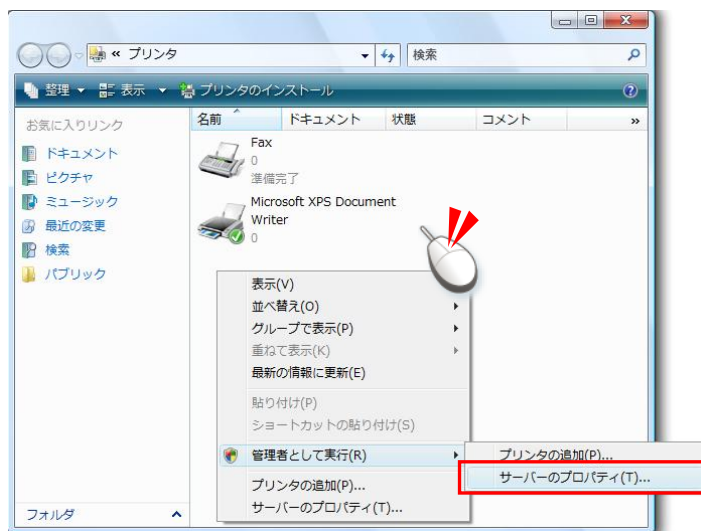


ガイド

- ・他にプリンタードライバがインストールされていないときは、「通常使うプリンタは削除されました。残っているプリンタはありません。」の画面が表示されますので、[閉じる]をクリックします。
 - ・通常使うプリンターに設定されていたときは、「通常使うプリンタは削除されました。」XXXXX XXXXXXXX が新しい通常使うプリンタに設定されます。」の画面が表示されますので、[閉じる]をクリックします。
- ** XXXXX XXXXXXXX はインストール済みのプリンターを表します。

4 「プリンタ」の空白部分で右クリックし、表示メニューから[管理者として実行]→[サーバーのプロパティ]を選択する

以降の手順は、「Windows 7 / Server 2008 R2 以降の Windows オペレーティングシステムするとき」の手順 6 からの方法に同じです。



ガイド

- ・ビルトインの Administrator アカウント、または[ユーザーアカウント制御(UAC)]が[無効]の場合は、表示メニューの[サーバーのプロパティ]を選択してください。

■ プリンターユーティリティのアンインストール

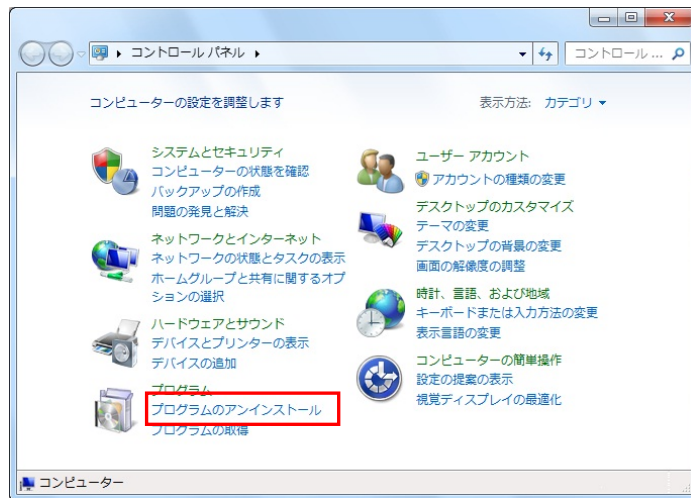
プリンターユーティリティのアンインストールは、以下の手順で行います。



ガイド

- ・ プリンタードライバをアンインストールするときは、プリンターユーティリティを全て終了してください。
- ・ [ユーザーアカウント制御]ウィンドウが表示されたときは、[はい]または[続行]をクリックしてください。

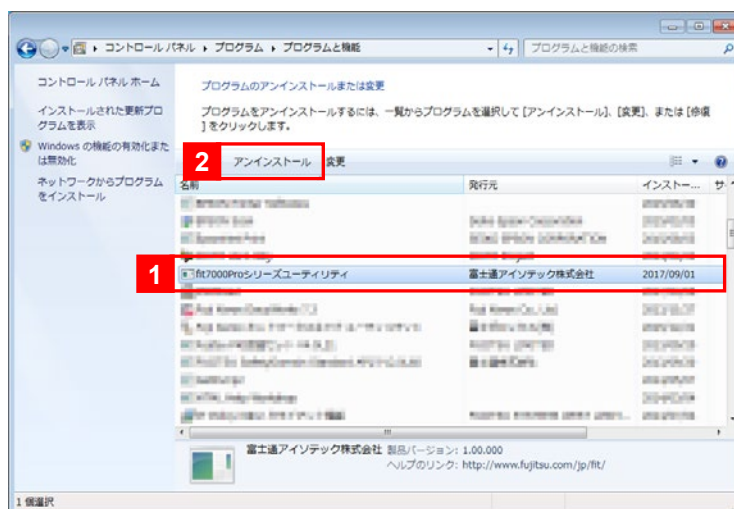
1 [コントロールパネル]→「プログラムのアンインストール」を選択する



ガイド

- ・ Windows 7 / Server 2008 R2 以前の Windows オペレーティングシステムでは、スタート → [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール]を選択します。
 - ・ Windows 8 / Server 2012 以降の Windows オペレーティングシステムでは、[Windows]キーを押しながら[X]キーを押し、画面左下に表示されるメニューから、[コントロールパネル]を選択します。
- ※ Windows 10, Version 1703 以降のときは、[スタート]→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]を選択します。
- [コントロールパネル]が表示されたら、[プログラム]部にある、[プログラムのアンインストール]を選択します。

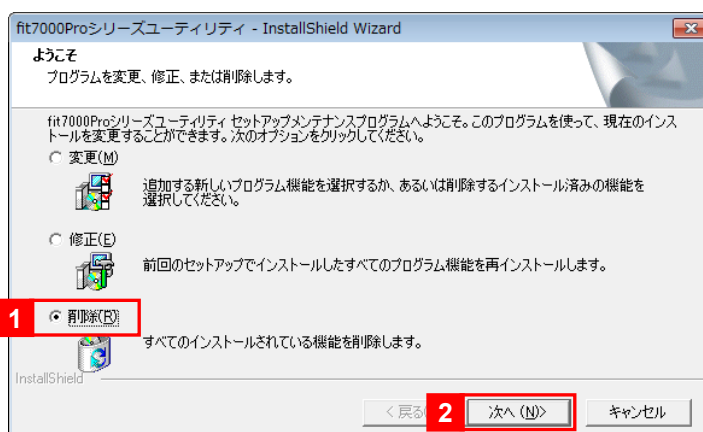
2 「fit7000Pro シリーズユーティリティ」を選択し、[アンインストール]をクリックする



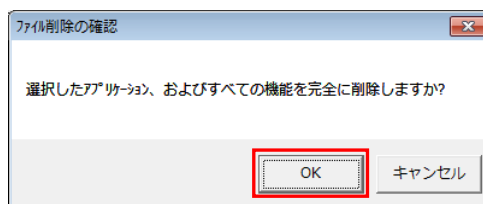
ガイド

- ・「アンインストールと変更」は、お使いのオペレーティングシステムによっては、「変更と削除」と表示されます。

3 [削除]選択し、[次へ]をクリックする

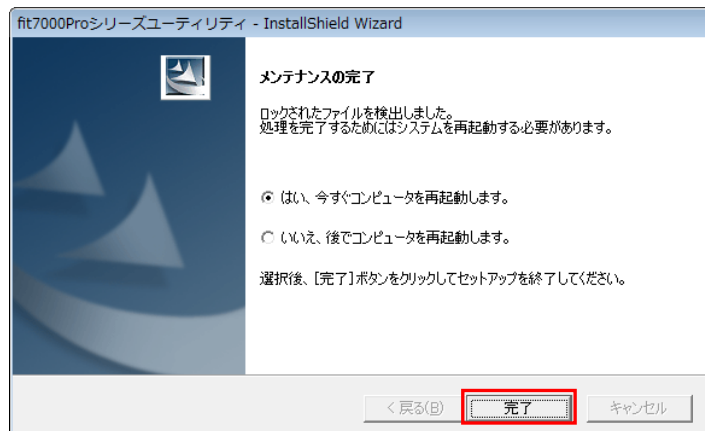


4 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックする



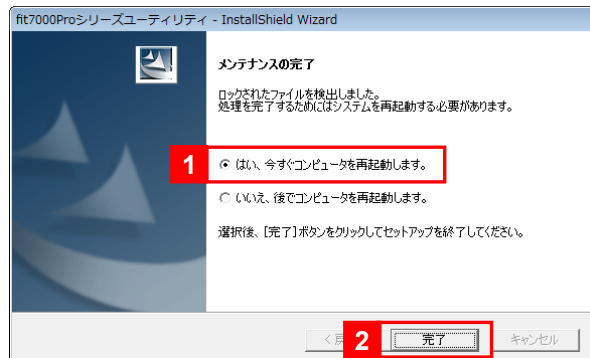
5 [完了]をクリックする

これで、プリンターユーティリティのアンインストール(削除)は完了です。



ガイド

- ・プリンターユーティリティ実行状態で、アンインストールを行うと、下記画面が表示されます。
「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックすると、パーソナルコンピュータを再起動します。
編集中のファイルがあるときは、保存操作を行ってください。





こんなときは

■ テストページが印字されないとき

テストページの印字が行えないときは、以下の確認を行ってください。

○プリンターの状態とプリンターケーブルの接続を確認する

- ・プリンターの電源が入っていますか。
- ・パラレルケーブル/USB ケーブル/LAN ケーブルは、正しく接続されていますか。
- ・プリンターがエラー状態になっていませんか。
- ・プリンターがオフライン状態になっていませんか。

○プリンタードライバの設定を確認する

- ・ポートの設定は正しいか、「プリンターのプロパティ」の「ポート」シートで、プリンターポートを確認します。
- ・プリンタードライバが、「停止中」、「一時停止」、または「オフラインで使用する」と表示されていませんか。
下記方法で、プリンタードライバの状態を確認します。

1. プリンターフォルダーを開きます。

- Windows 8 / Server 2012 以降のとき

[Windows]キーを押しながら[X]キーを押し、画面左下に表示されるメニューから、[コントロールパネル]を選択します。[コントロールパネル]が表示されたら、[ハードウェアとサウンド]部(または、[ハードウェア]部)にある、[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

※ Windows 10, Version 1703 以降のときは、[スタート]→

[Windows システムツール]→[コントロールパネル]を選択します。

- Windows 7 / Server 2008 R2 のとき

スタート → [デバイスとプリンター]を選択します。

- Windows Vista / Server 2008 のとき

スタート → [コントロールパネル]を選択します。[コントロールパネル]が表示されたら、[ハードウェアとサウンド]部(または、[ハードウェア]部)にある、[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

2. エラーが発生しているプリンターのアイコンを、ダブルクリックします。
3. 表示されたウィンドウや状態に、[停止中]、[一時停止]、または[オフラインで使用する]と表示されていないか確認します。
 - [停止中]、[一時停止]と表示されているとき
「プリンター」メニュー、および「ドキュメント」メニューの、「一時停止」をクリックして解除します。
 - [オフラインで使用する]と表示されているとき
「プリンター」メニューの、「プリンターをオフラインで使用する」をクリックして解除します。

■ USB インターフェース接続のとき

お使いの環境によっては、選択した USB ポートとプリンターが接続されている USB ポートが異なる場合があります。

下記手順でプリンターポートを変更してください。

変更し終わったら、テストページの印字で確認してください。

- ・ポートの設定は正しいか、「プリンターのプロパティ」の「ポート」シートで、プリンターポートを確認します。

1. プリンターフォルダーを開きます。

- Windows 8 / Server 2012 以降のとき

[Windows]キーを押しながら[X]キーを押し、画面左下に表示されるメニューから、[コントロールパネル]を選択します。[コントロールパネル]が表示されたら、[ハードウェアとサウンド]部(または、[ハードウェア]部)にある、[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

※ Windows 10, Version 1703 以降のときは、[スタート]→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]を選択します。

- Windows 7 / Server 2008 R2 のとき

スタート → [デバイスとプリンター]を選択します。

- Windows Vista / Server 2008 のとき

スタート → [コントロールパネル]を選択します。[コントロールパネル]が表示されたら、[ハードウェアとサウンド]部(または、[ハードウェア]部)にある、[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

2. お使いのプリンターのアイコンを右クリックし、表示メニューから「プリンターのプロパティ」(Windows Vista / Server 2008 では、「プロパティ」)を選択します。
3. プロパティが表示されたら、「ポート」シートをクリックします。
4. 「印刷するポート」一覧で、プリンターポートを変更します。
USB ポートは、「USB XXX」(XXX は、001 など 3 桁の数値)で表されています。テストページの印字が行えなかったプリンターポートが「USB001」だったときは、「USB002」などに変更してください。
5. [適用]をクリックします。
6. プリンター電源を OFF → ON します。
7. 「全般」シートをクリックし、[テストページの印刷]をクリックします。

■ プリンタードライバインストール前に、プリンターとパーソナルコンピュータを接続したとき

プリンタードライバをインストールする前に、プリンターとパーソナルコンピュータを接続すると、通知領域に「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されます。このメッセージが表示されたときは、下記方法でリカバリーしてください。



ガイド

- ・ Windows 8 / Server 2012 以降の Windows オペレーティングシステムでは、メッセージが表示されません。「デバイスとプリンター」フォルダーを開いて確認してください。
- ・ [ユーザーアカウント制御] ウィンドウに「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

1 プリンターフォルダーを開く



ガイド

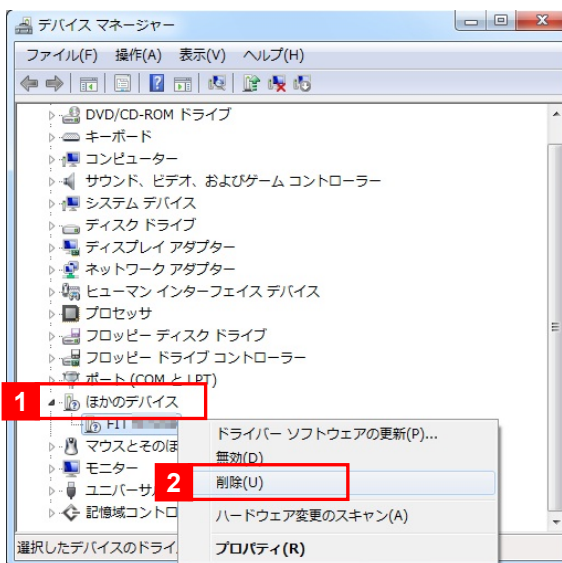
- ・ Windows 7 / Server 2008 R2 以前の Windows オペレーティングシステムのときは、スタート → [デバイスとプリンター]を選択します。
 - ・ Windows 8 / Server 2012 以降の Windows オペレーティングシステムのときは、[Windows]キーを押しながら[X]キーを押し、画面左下に表示されるメニューから、[コントロールパネル]を選択します。
 - ※ Windows 10, Version 1703 以降のときは、[スタート]→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]を選択します。
- [コントロールパネル]が表示されたら、[ハードウェアとサウンド]部(または、[ハードウェア]部)にある、[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

- 2 「デバイスとプリンター」フォルダーの空白分をマウスの右ボタンでクリックし、表示メニューから「デバイスマネージャー」を選択する

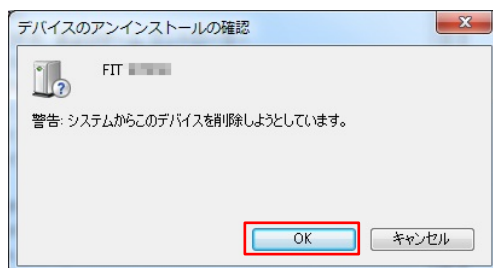


- 3 「デバイスマネージャー」が起動するので、[?] ほかのデバイス」をダブルクリックする

表示されたプリンター(接続したプリンター)をマウスの右ボタンでクリックし、表示メニューから「削除」を選択します。



4 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックする

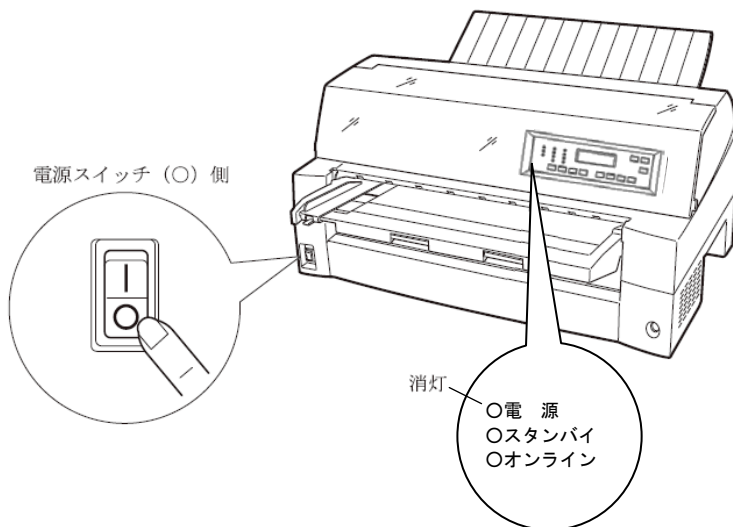


ガイド

- ・ [OK] ボタンをクリックしたら、デバイスマネージャー画面右上の  [閉じる] をクリックして、デバイスマネージャーを終了します。

5 プリンターの電源スイッチを ○ 側に倒し、プリンターの電源を切る

これで、プリンタードライバをインストールする前に、プリンターとパーソナルコンピュータを接続したときのリカバリーは完了です。「プリンタードライバのインストール」(14ページ)の手順で、プリンタードライバをインストールします。



■ Windows をアップまたはダウングレードするとき

現在お使いの Windows オペレーティングシステムを、異なる Windows オペレーティングシステムへアップグレードまたはダウングレードするときは、プリンタードライバ、PR-LN4S 設定ツール、および fit プリンターユーティリティを削除してからアップグレードまたはダウングレードしてください。

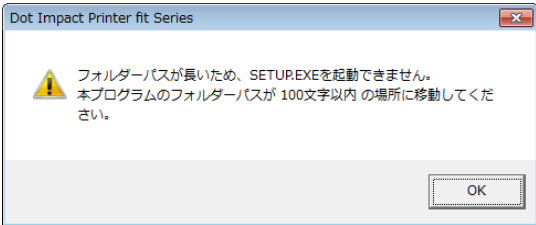
アップグレードまたはダウングレード終了後、再度プリンタードライバおよび fit プリンターユーティリティをセットアップしてください。

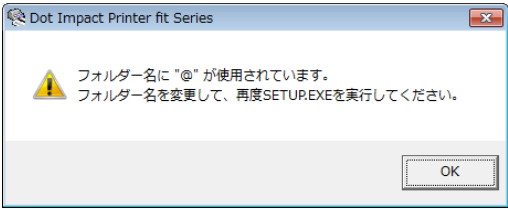
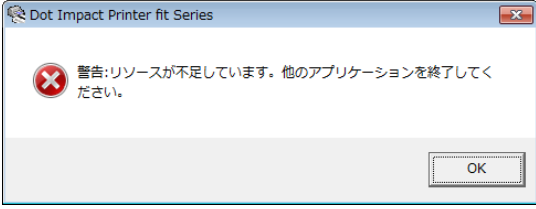
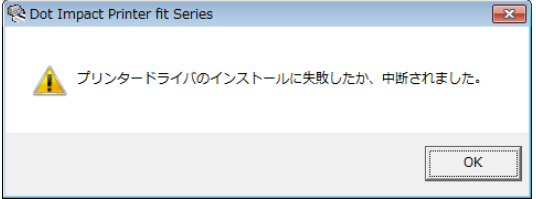
プリンタードライバおよび fit プリンターユーティリティがインストールされた状態で Windows のアップグレードやダウングレードを行うと、アップグレードまたはダウングレード前のプリンタードライバや fit プリンターユーティリティが登録されたままとなり、正しい印字が行えない、fit プリンターユーティリティが提供している機能が使用できないなどの現象が発生する場合があります。

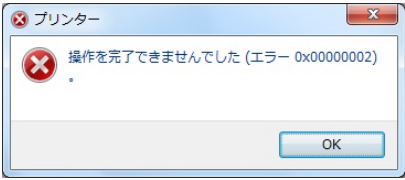
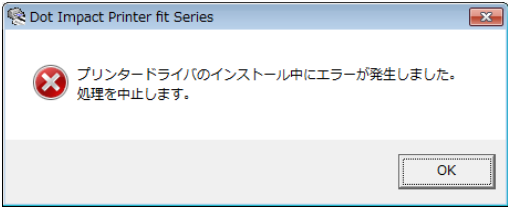
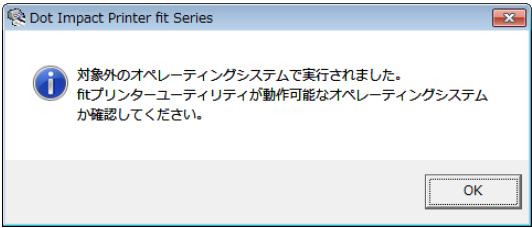
■ セットアップ時のトラブルシューティング

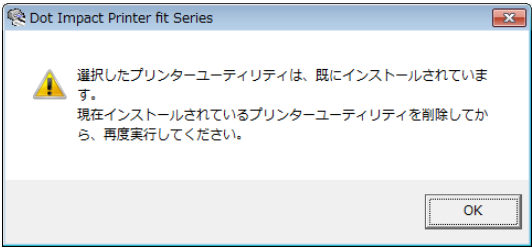
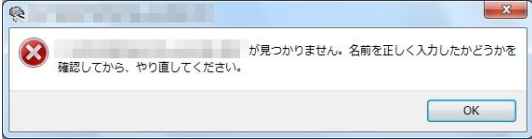
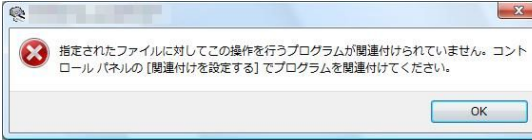
本セットアッププログラムが表示するエラーメッセージと、その対処方法について説明します。

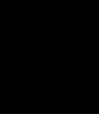
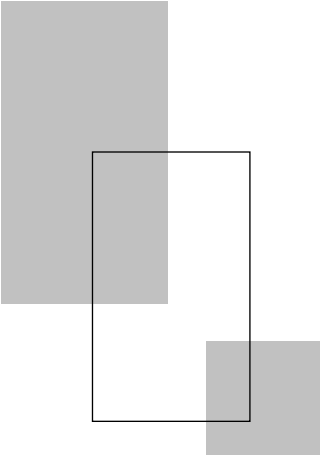
操作中にエラーメッセージが表示されたら、下記方法でリカバリーしてください。

エラーメッセージ	原因と対処方法	
	原因	・本セットアッププログラムを複数起動しました。
	対処方法	・複数起動されているセットアッププログラムを終了します。
	原因	・フォルダーパスが既定の文字数を超えています。
	対処方法	・セットアッププログラムまでのフォルダーパスを、100文字以内の場所に移動します。フォルダーパスを変更したら、再度セットアッププログラムを実行します。

エラーメッセージ	原因と対処方法	
	原因	・セットアッププログラムへのフォルダーパスに、“@” 使用されています。
	対処方法	・セットアッププログラムへのフォルダーパスを、“@” を含まないパスに変更します。フォルダーパスを変更したら、再度セットアッププログラムを実行します。
	原因	・セットアッププログラムを実行するためのリソースが不足しています。
	対処方法	・実行されている他のアプリケーションを終了します。 ・パーソナルコンピュータを再起動し、再度セットアッププログラムを実行します。
	原因	・本セットアッププログラムを、Windows Vista より前のオペレーティングシステムで実行し、[プリンタードライバのインストール]を選択しました。
	対処方法	・セットアッププログラムを起動したオペレーティングシステムを確認します。本セットアッププログラムを使用してプリンタードライバをインストールするには、Windows Vista 以降のWindows オペレーティングシステムが必要です。その他のWindows オペレーティングシステムでは使用できません。
	原因	・プリンタードライバのインストールを中断しました。 ・プリンタードライバインストール中に確認を求める画面で、[インストールしない]、または[→ このドライバーソフトウェアをインストールしない]をクリックしました。
	対処方法	・再度、[プリンタードライバのインストール]をクリックし、プリンタードライバをインストールします。

エラーメッセージ	原因と対処方法	
	原因	- プリンタードライバのインストールに必要なファイルに誤りがあります。 (1) セットアッププログラムのフォルダーパスに環境依存文字(Unicode)が使用されています。 (2) プリンタードライバファイルが不足している可能性があります。 (3) プリンタードライバファイルが壊れている可能性があります。
	原因	- セットアッププログラムのフォルダーパスを、環境依存文字(Unicode)を含まないパスに変更します。フォルダーパスを変更したら、再度セットアッププログラムを実行します。 - インターネットの弊社「製品情報ページ」から、プリンタードライバを入手します。 URL: http://www.fujitsu.com/jp/fit/products/printers/index.html (上記 URL は、本書作成時の URL です)
	原因	システムエラーが発生しました。
	対処方法	パーソナルコンピュータを再起動し、再度セットアッププログラムを実行します。
	原因	本セットアッププログラムを、対象外のオペレーティングシステムで実行し、[プリンターユーティリティのインストール]を選択しました。
	対処方法	セットアッププログラムを起動したオペレーティングシステムを確認します。本セットアッププログラムを使用してプリンターユーティリティをインストールするには、Windows Vista 以降の Windows オペレーティングシステムが必要です。その他の Windows オペレーティングシステムでは使用できません。

エラーメッセージ	原因と対処方法	
	原因	・プリンターユーティリティは既にインストールされています。
	対処方法	・[終了]をクリックし、セットアッププログラムを終了します。 ・インストールされているプリンターユーティリティをアンインストール(削除)します。 ・アンインストールし終わったら、再度セットアッププログラムを実行し、[プリンターユーティリティのインストール]をクリックします。
	原因	・選択した取扱説明書を表示することができませんでした。 (1) システムエラーが発生している可能性があります。 (2) ファイルが不足、または壊れている可能性があります。
	対処方法	・パーソナルコンピュータを再起動し、再度セットアッププログラムを実行します。 ・インターネットの弊社「製品情報ページ」から、プリンタードライバを入手します。 URL: http://www.fujitsu.com/jp/fit/products/printers/index.html (上記 URL は、本書作成時の URL です)
	原因	・取扱説明書を表示するために関連付けられたアプリケーションがありません。
	対処方法	・取扱説明書を表示するためのソフトウェアをインストールします。



第 2 章

プリンタードライバの設定

この章では、プリンタードライバの設定方法や設定項目について説明します。

プリンタードライバの設定	58
印字可能領域	70
印刷の向き	78
ページの順序	78
ページ形式	78
給紙方法	79
メディア	81
部数・部単位	81
連続紙左端余白	81
上端余白	82
カスタム用紙余白	82
連続紙セットフリー	82
印刷品質	83
排出トレイ	83
濃淡	84
180 度回転	84
ユーザー定義サイズ用紙の作成方法	85
バーコードの印字方法	89
バーコード印字時の注意事項	91



プリンタードライバの設定

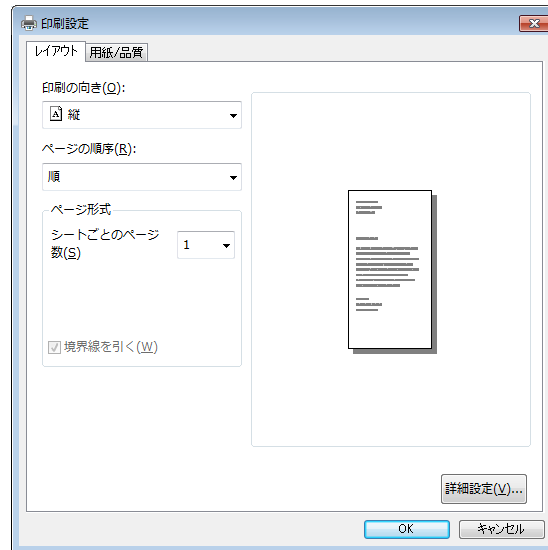
ここでは、プリンタードライバの設定画面について説明します。
プリンタードライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンターのプロパティ」で行います。
各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド

- ・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印字に関する設定（プリンタードライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印字されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
 - * アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。
- ・ここでは、Windows 7 で、FIT fit7850Pro プリンタードライバの画面を例に説明しています。異なるモデルをお使いの時は、お使いのモデルに読み替えてください。

◆ アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンターの設定項目から表示するプリンターのプロパティです。

印字時に用紙サイズや解像度などの印字に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンター設定のプロパティを表示する方法、またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

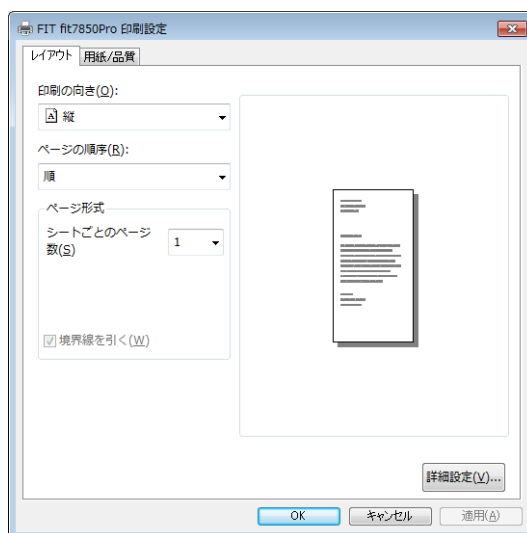
- 1 ワードパッドのアプリケーションメニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 印刷画面が表示されたら、設定を変更したいプリンターを選択し〔詳細設定〕を選択する
- 3 目的の項目を含むタブ、または〔詳細設定〕ボタンをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

- 4 〔OK〕をクリックし、〔印刷設定〕ウィンドウを閉じる

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

◆ 「スタート」からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印字に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンターの設定を行わない場合は、
この設定値で印字します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 「プリンター」フォルダーを開く

2 FIT fit7850Pro プリンターのアイコンを右クリックし、「印刷設定」を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、「詳細設定」をクリックし、設定を変更します。

「OK」をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

「キャンセル」をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

「適用」をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。



ガイド

- ・ 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
 - (1) 「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして「変更したオプションを元に戻す」ボタンを表示し、クリックします。
 - (2) 「詳細設定」の場合、「FIT fit7850Pro 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして「変更したオプションを元に戻す」ボタンを表示し、クリックします。
- ・ 設定内容に変更があった場合のみ、「適用」ボタンが有効になります。

◆ プリンターのプロパティ



デバイスの設定やポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 「スタート」から、「デバイスとプリンター」の順に選択する
- 2 FIT fit7850Pro プリンターのアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。



ガイド

- ・ 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
 - (1) 設定を変更した後、「デバイスの設定」タブの「FIT fit7850Pro デバイスの設定」を右クリックします。「変更したオプションを元に戻す」ボタンが表示されますので、クリックします。（「デバイスの設定」タブのみ有効）
- ・ 設定内容に変更があった場合のみ、「適用」ボタンが有効になります。

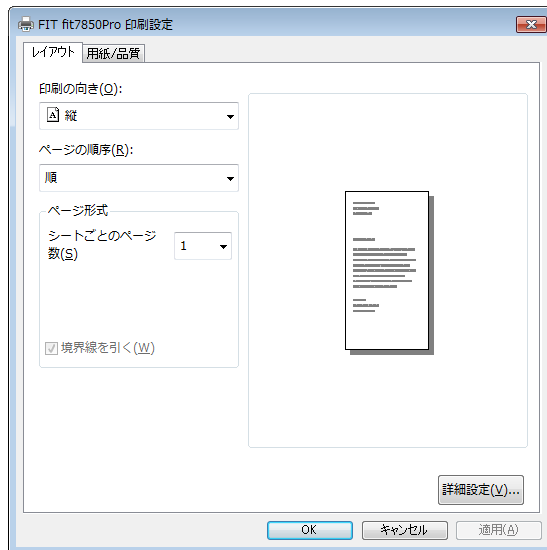
◆ ダイアログ一覧



ガイド

- ・ 本書では、プリンタードライバが提供する機能についてのみ記載しています。
〔全般〕，〔共有〕，〔ポート〕，〔詳細設定〕，〔色の管理〕，〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- ・ (注 1) とあるダイアログは「印刷」または「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
(注 2) とあるダイアログは「プリンターのプロパティ」ダイアログボックスで表示されます。

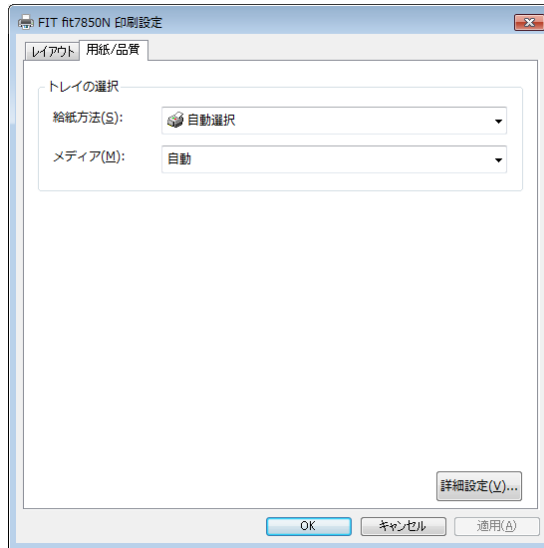
〔レイアウト〕 (注 1)



印刷の向き、ページの順序、シートごとのページ数など、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内 容
印刷の向き	印字の向きを指定します。
ページの順序	印字するページの順序を指定します。
シートごとのページ数	1 枚の用紙に何ページ分印字するのかを指定します。
境界線を引く	シートごとのページ数で、複数ページを割り付けたときにページ境界線を引くかを指定します。

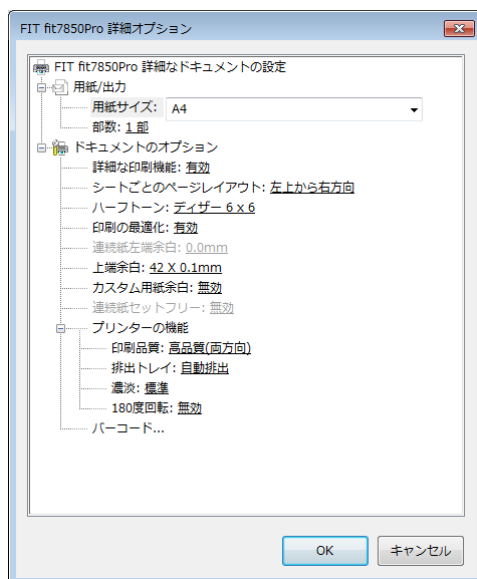
〔用紙/品質〕（注1）



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・ 「自動選択」のまま印字すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズ of 用紙が割り当てられている給紙方法で印字します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印字します。給紙方法については、「給紙方法」（79ページ）を参照してください。
メディア	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンター装置側の用紙厚調整の設定が「シドゥ」に設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・ 自動 : 用紙厚を自動で調整します。 ・ レンジ 1～レンジ D : 用紙厚を指定の厚さに設定します。

〔詳細〕（注1）



次の項目の設定が行えます。

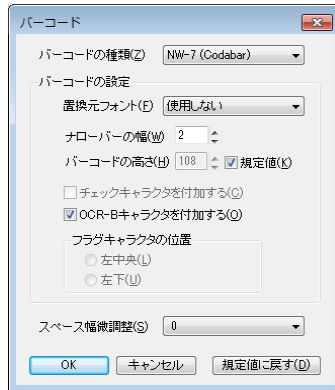
設定項目	内 容	
用紙/出力 ドキュメントのオプション	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	部数を設定します。
	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ数〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ数〕および〔部数〕の設定が無効になります。
	シートごとのページレイアウト	〔レイアウト〕タブの〔シートごとのページ数〕で[1]以外を選択した時のページ割付け方法を選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印字結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。
	連続紙左端余白	連帳用紙の左端余白量を設定します。 本項目は、連帳系給紙口、または連帳系用紙やユーザー定義サイズ用紙を選択したときに設定することができます。

設定項目	内 容	
ドキュメントのオプション	上端余白	用紙の上端余白量を設定します。 設定可能な範囲は、0.0mm～51.0mm です。
	カスタム用紙余白	プリントサーバーのプロパティでユーザー定義サイズ用紙を作成したときに設定した余白を有効化します。 左右の余白量の違いで印字位置がずれるときは、プリントサーバーのプロパティでユーザー定義サイズ用紙を作成し上下左右余白を設定し、本項目を「有効」にしてください。
	連続紙セットフリー	プリンター装置で連帳用紙のセットフリー機能を有効化したとき、本項目を「有効」にします。連帳用紙をセットフリーで動作するときに適切な左右余白量になります。 本項目は、連帳系給紙口、または連帳系用紙やユーザー定義サイズ用紙を選択したときに設定することができます。
	プリンターの機能	印刷品質 (注 1)
		印字品質および印字方向の設定をします。 ・ 高品質 (両方向) : 高品質モードで両方向印字を行います。 ・ 高品質 (片方向) : 高品質モードで片方向印字を行います。 ・ 高速 (両方向) : 高速モードで両方向印字を行います。 ・ 高速 (片方向) : 高速モードで片方向印字を行います。 ・ 低騒音 (両方向) : 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・ 低騒音 (片方向) : 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・ プリンタ設定 : 印字方向は両方向、印刷品質はプリンターの設定に従います。 ・ プリンタ設定 : 印字方向は片方向、印刷品質はプリンターの設定に従います。
	排出トレイ	用紙の排出方法を設定します。 ・ 自動排出 : プリンターの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・ 手前排出 : 単票テーブル側に排出します。 ・ 後方排出 : リアスタッカーに排出します。

注1) プリンタードライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンターの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンターの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタードライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

設定項目	内 容		
ドキュメントのオプション	プリンターの機能	濃淡	印字圧の設定をします。 ・標準 : 標準の印字圧で印字します。 ・高複写1 : 高複写の印字圧で印字します。 ・高複写2 : 2度打ちにより高複写1よりさらに高複写の印字圧で印字します。 ・プリンタ : プリンターで設定されて設定優先 いる印字圧に従います。
		180 度回転	180 度回転して印字します。
	バーコードのプロパティ		〔バーコード〕ダイアログを表示します。本ダイアログでは、バーコードの書式設定を行います。

〔バーコード〕 (注1)



バーコードの書式設定を行います。

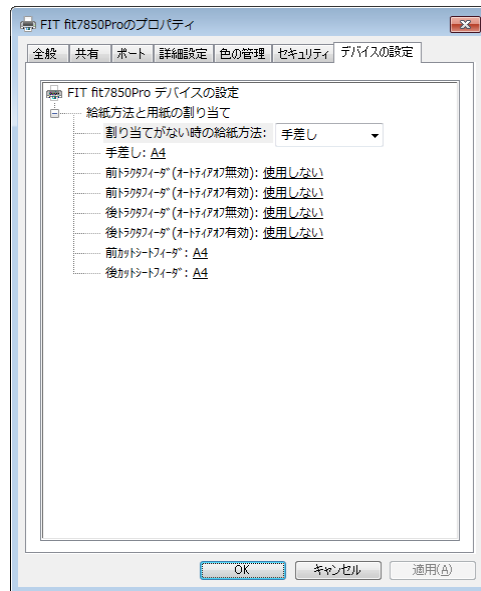
設定項目	内 容												
バーコードの種類	書式設定を行うバーコード選択します。 選択したバーコードによって、「バーコードの設定」の内容が変わります。 fit7850Pro/fit7650Pro プリンタードライバは、下記バーコードに対応しています。 <table border="0"> <tr> <td>-NW-7 (Codabar)</td><td>-EAN13 (JAN 標準)</td></tr> <tr> <td>-EAN8 (JAN 短縮)</td><td>-CODE 3 of 9</td></tr> <tr> <td>-Industrial 2 of 5</td><td>-Interleaved 2 of 5</td></tr> <tr> <td>-Matrix 2 of 5</td><td>-UPC-A</td></tr> <tr> <td>-UPC-E</td><td>-CODE128</td></tr> <tr> <td>-カスタマバーコード</td><td>-QR コード</td></tr> </table>	-NW-7 (Codabar)	-EAN13 (JAN 標準)	-EAN8 (JAN 短縮)	-CODE 3 of 9	-Industrial 2 of 5	-Interleaved 2 of 5	-Matrix 2 of 5	-UPC-A	-UPC-E	-CODE128	-カスタマバーコード	-QR コード
-NW-7 (Codabar)	-EAN13 (JAN 標準)												
-EAN8 (JAN 短縮)	-CODE 3 of 9												
-Industrial 2 of 5	-Interleaved 2 of 5												
-Matrix 2 of 5	-UPC-A												
-UPC-E	-CODE128												
-カスタマバーコード	-QR コード												
バーコードの設定 (注1)	置換元フォント												
	バーコードの種類で選択したバーコードのバーコードフォントと、置換元フォントで選択したフォントをバーコードに変換して印字します。												
	ナローバーの幅												
	ナローバー(細バー)の幅を指定します。												
	バーコードの高さ												
	バーコードの高さを指定します。 [規定値]をチェックを付けると、ナローバーの幅で設定されている値の規定の高さとなります。												
	チェックキャラクタを付加する チェックを付けると、バーコードにチェックキャラクタを付加します。 選択したバーコードの種類によっては、設定できません。												

注1) 「バーコードの設定」の内容は、書式設定を行うバーコード毎に異なります。
 「バーコードの設定」の詳細は、プリンタードライバのヘルプをご覧ください。

設定項目		内 容
バーコードの設定 (注 1)	OCR-B キャラクタを付加する	チェックを付けると、バーコードに OCR-B キャラクタを付加します。
	フラグキャラクタの位置	フラグキャラクタの位置を指定します。選択したバーコードの種類によっては、設定できません。
	セルサイズ	セル (QR コードを構成する黒白の四角) のサイズを指定します。
	モデル番号	QR コードのモデルを指定します。
	誤り訂正レベル	QR コードの誤り訂正レベルを指定します。
スペース幅 微調整	バーコードのスペース幅の調整値を設定します。 カスタマバーコード、QR コードを選択しているときは、設定できません。	
規定値に戻す	バーコードの種類で選択されているバーコードの設定を規定値 (初期値) に戻します。	

注 1) 「バーコードの設定」の内容は、書式設定を行うバーコード毎に異なります。
「バーコードの設定」の詳細は、プリンタードライバのヘルプをご覧ください。

〔デバイスの設定〕（注2）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法と 用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。 給紙方法で「自動選択」を指定し、同一サイズ of 用紙を複数の給紙方法に割り当てられているときは、「手差し」>「トラクタフィーダー」>「カットシートフィーダー」の順に優先度が高くなります。 指定された用紙がどの給紙方法にも割り当てられていないときは、「割り当てがない時の給紙方法」で指定されている給紙方法で給紙します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印字中に給紙口が切替ったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。 本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定を一致させてください。



印字可能領域

このプリンタードライバで利用できる用紙サイズおよび印字範囲は、次のようになっています。

◆ 用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A3 横	420.00	297.00	297.00	420.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A4 横	297.00	210.00	210.00	297.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A5 横	210.00	148.00	148.00	210.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
A6 横	148.00	105.00	105.00	148.00
A3 / び 329 x 483 mm	329.00	483.00	—	—
A4 / び 224 x 355 mm	224.00	355.00	355.00	224.00
A4 / び 横 355 x 224 mm	355.00	224.00	224.00	355.00
B4(JIS)	257.00	364.00	364.00	257.00
B4(JIS) 横	364.00	257.00	257.00	364.00
B5(JIS)	182.00	257.00	257.00	182.00
B5(JIS) 横	257.00	182.00	182.00	257.00
Letter	215.90	279.40	279.40	215.90
Legal	215.90	355.60	355.60	215.90
はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
はがき横	148.00	100.00	100.00	148.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
往復はがき横	148.00	200.00	200.00	148.00
封筒 長形 2 号 横	277.00	119.00	—	—
封筒 長形 3 号 横	235.00	120.00	—	—
封筒 長形 4 号 横	205.00	90.00	—	—
封筒 長形 5 号 横	185.00	90.00	—	—
封筒 角形 2 号 横	332.00	240.00	—	—
封筒 角形 3 号 横	277.00	216.00	—	—
封筒 角形 4 号 横	267.00	197.00	—	—
封筒 角形 5 号 横	240.00	190.00	—	—
封筒 角形 6 号 横	229.00	162.00	—	—
封筒 角形 7 号 横	205.00	142.00	—	—
封筒 角形 8 号 横	197.00	119.00	—	—

用紙	縦 (ポートレート)		横 (ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
封筒 洋形 1 号 横	176.00	120.00	—	—
封筒 洋形 2 号 横	162.00	114.00	—	—
封筒 洋形 3 号 横	148.00	98.00	—	—
封筒 洋形 4 号 横	235.00	105.00	—	—
封筒 洋形 5 号 横	217.00	95.00	—	—
封筒 洋形 6 号 横	190.00	98.00	—	—
封筒 洋形 7 号 横	165.00	92.00	—	—
封筒 US10 (239 x 105 mm)	238.00	105.00	—	—
封筒 German Type (220 x 111 mm)	220.00	111.00		
名刺 55 x 90 mm	55.00	90.00	90.00	55.00
10x11 インチ	254.00	279.40	—	—
10x14 インチ	254.00	355.60	—	—
11x17 インチ	297.40	431.80	—	—
12x11 インチ	304.80	279.40	—	—
15x11 インチ	381.00	279.40	—	—
9x11 インチ	228.60	279.40	—	—
10 x 11inch 連続紙	254.00	279.40	—	—
12 x 11inch 連続紙	304.80	279.40	—	—
15 x 11inch 連続紙	381.00	279.40	—	—
縦 1 インチ (25.4mm) 連続紙	381.00	25.40	—	—
縦 2 インチ (50.8mm) 連続紙	381.00	50.80	—	—
縦 2.5 インチ (63.5mm) 連続紙	381.00	63.50	—	—
縦 3 インチ (76.2mm) 連続紙	381.00	76.20	—	—
縦 4 インチ (101.6mm) 連続紙	381.00	101.60	—	—
縦 4.5 インチ (114.3mm) 連続紙	381.00	114.30	—	—
縦 5 インチ (127.0mm) 連続紙	381.00	127.00	—	—
縦 5.5 インチ (139.7mm) 連続紙	381.00	139.70	—	—
縦 6 インチ (152.4mm) 連続紙	381.00	152.40	—	—
縦 6.5 インチ (165.1mm) 連続紙	381.00	165.10	—	—
縦 7 インチ (177.8mm) 連続紙	381.00	177.80	—	—
縦 7.5 インチ (190.5mm) 連続紙	381.00	190.50	—	—
縦 8 インチ (203.2mm) 連続紙	381.00	203.20	—	—
縦 8.5 インチ (215.9mm) 連続紙	381.00	215.90	—	—
縦 9 インチ (228.6mm) 連続紙	381.00	228.60	—	—
縦 9.5 インチ (241.3mm) 連続紙	381.00	241.30	—	—
縦 10 インチ (254.0mm) 連続紙	381.00	254.00	—	—
縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙	381.00	266.70	—	—
縦 11 インチ (279.4mm) 連続紙	381.00	279.40	—	—
縦 12 インチ (304.8mm) 連続紙	381.00	304.80	—	—
縦 12.5 インチ (317.5mm) 連続紙	381.00	313.80	—	—
縦 13 インチ (330.2mm) 連続紙	381.00	330.20	—	—
縦 14 インチ (355.6mm) 連続紙	381.00	355.60	—	—

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
縦 3 1/3 インチ(84.7mm) 連続紙	381.00	84.70	－	－
縦 3 2/3 インチ(93.1mm) 連続紙	381.00	93.10	－	－
縦 4 1/3 インチ(110.1mm) 連続紙	381.00	110.10	－	－
縦 4 2/3 インチ(118.5mm) 連続紙	381.00	118.50	－	－
縦 5 1/3 インチ(135.5mm) 連続紙	381.00	135.50	－	－
縦 5 2/3 インチ(143.9mm) 連続紙	381.00	143.90	－	－
縦 6 2/3 インチ(169.3mm) 連続紙	381.00	169.30	－	－
縦 10 インチ(3 等分) (84.7mm) 連続紙	381.00	84.70	－	－
縦 11 インチ(3 等分) (93.1mm) 連続紙	381.00	93.10	－	－
縦 11 インチ(4 等分) (69.9mm) 連続紙	381.00	39.90	－	－
縦 11 インチ(5 等分) (55.9mm) 連続紙	381.00	55.90	－	－
縦 11 インチ(6 等分) (46.6mm) 連続紙	381.00	46.60	－	－
縦 13 インチ(4 等分) (82.6mm) 連続紙	381.00	82.60	－	－
ターンアラウンド1型	304.80	127.00	－	－
ターンアラウンド2型	304.80	127.00	－	－
ターンアラウンド3型	304.80	152.40	－	－
ターンアラウンド4型	304.80	254.00	－	－
チェーンストアタイプ用(No なし)	254.00	127.00	－	－
チェーンストアタイプ用(No あり)	254.00	127.00	－	－
チェーンストアタイプ用1型(No なし)	279.40	127.00	－	－
チェーンストアタイプ用1型(No あり)	279.40	127.00	－	－
チェーンストア OCR 用(No なし)	254.00	127.00	－	－
チェーンストア OCR 用(No あり)	254.00	127.00	－	－
チェーンストア OCR 用1型	304.80	127.00	－	－
チェーンストア OCR 用2型	304.80	127.00	－	－
菓子統一伝票(新)	304.80	127.00	－	－
菓子統一伝票(旧)	279.40	127.00	－	－
家電業界統一伝票 E 様式(新)	254.00	127.00	－	－
家電業界統一伝票 E 様式(旧)	254.00	127.00	－	－
百貨店統一伝票タイプ用買取	254.00	127.00	－	－
百貨店統一伝票タイプ用買取(旧)	279.40	127.00	－	－
百貨店統一伝票タイプ用委託	254.00	127.00	－	－
百貨店統一伝票タイプ用2型	304.80	152.40	－	－
業際統一伝票	304.80	127.00	－	－
文具統一伝票	281.94	127.00	－	－
ユーザー定義サイズ	55.00～ 420.00	25.40～ 420.00	－	－

注 1) 「はがき」は、郵政はがき(公社製(官製)はがき)です。

注 2) ユーザー定義サイズ用紙は、プリンターフォルダーを開いて、[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]または[プリントサーバーのプロパティ]で作成します。

注 3) プリンタードライバのプロパティでは、上表以外の用紙が表示される場合があります。



ガイド

ユーザー定義サイズ用紙について

- 用紙幅はプリンターにセットできる用紙の最大幅（約 420.0mm まで）設定できますが、印字可能範囲内（最大 345.5mm）で使用してください。最大印字可能範囲を越えると、正しく印字されない場合があります。
- ユーザー定義サイズ用紙を使用する場合、Windows オペレーティングシステムの演算誤差により用紙送りの累積で印字ずれが発生する場合があります。
その場合は、ユーザー定義サイズ用紙の高さ（Windows のバージョンによっては長さとして表示されます）を調整するか、複数ページを 1 つの単位とした用紙を作成してください。
- ユーザー定義サイズ用紙の作成方法については、本章の85ページを参照してください。

◆ 印字領域

単位：mm

給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端
手差し	(注 1), (注 2)	4.23, (注 2)
前トラクタフィーダ [※] (オートフィード無効)	(注 1), (注 2)	0.00, (注 2)
前トラクタフィーダ [※] (オートフィード有効)	(注 1), (注 2)	0.00, (注 2)
後トラクタフィーダ [※] (オートフィード無効)	(注 1), (注 2)	0.00, (注 2)
後トラクタフィーダ [※] (オートフィード有効)	(注 1), (注 2)	0.00, (注 2)
前カットシートフィーダ [※]	(注 1), (注 2)	4.23, (注 2)
後カットシートフィーダ [※]	(注 1), (注 2)	4.23, (注 2)

注 1) 上端余白は、「上端余白」に従った余白となります。

注 2) カスタム用紙余白を有効にしたときは、ユーザー定義サイズ用紙作成時に設定した余白になります。

単位：mm

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
A3	5.08	5.08
A3 横	37.32	37.32
A4, A4 横	5.08	5.08
A5, A5 横	5.08	5.08
A6, A6 横	5.08	5.08
B4 (JIS)	5.08	5.08
B4 (JIS) 横	5.08	13.48
B5 (JIS), B5 (JIS) 横	5.08	5.08
Letter	5.08	5.08
Legal	5.08	5.08
はがき, はがき横	5.08	5.08
往復はがき, 往復はがき横	5.08	5.08
封筒 長形 2 号 横	12.00	12.00
封筒 長形 3 号 横	12.00	12.00
封筒 長形 4 号 横	12.00	12.00
封筒 長形 5 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 2 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 3 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 4 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 5 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 6 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 7 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 8 号 横	12.00	12.00

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
封筒 洋形 1 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 2 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 3 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 4 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 5 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 6 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 7 号 横	12.00	12.00
封筒 US10 (239 x 105 mm)	12.00	12.00
封筒 German Type (220 x 111 mm)	12.00	12.00
名刺 55 x 90 mm	5.08	5.08
10x11 インチ	(注 3), (注 4)	(注 3), (注 4)
10x14 インチ	(注 3), (注 4)	(注 3), (注 4)
11x17 インチ	(注 3), (注 4)	(注 3), (注 4)
12x11 インチ	(注 3), (注 4)	(注 3), (注 4)
15x11 インチ	(注 3), (注 4)	(注 3), (注 4)
9x11 インチ	(注 3), (注 4)	(注 3), (注 4)
10 x 11inch 連続紙	(注 3)	(注 3)
12 x 11inch 連続紙	(注 3)	(注 3)
15 x 11inch 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 1 インチ(25.4mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 2 インチ(50.8mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 2.5 インチ(63.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 3 インチ(76.2mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4 インチ(101.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4.5 インチ(114.3mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5 インチ(127.0mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5.5 インチ(139.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 6 インチ(152.4mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 6.5 インチ(165.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 7 インチ(177.8mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 7.5 インチ(190.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 8 インチ(203.2mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 8.5 インチ(215.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 9 インチ(228.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 9.5 インチ(241.3mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 10 インチ(254.0mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 10.5 インチ(266.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(279.4mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 12 インチ(304.8mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 12.5 インチ(317.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 13 インチ(330.2mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 14 インチ(355.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
縦 3 1/3 インチ(84.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 3 2/3 インチ(93.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4 1/3 インチ(110.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4 2/3 インチ(118.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5 1/3 インチ(135.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5 2/3 インチ(143.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 6 2/3 インチ(169.3mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 10 インチ(3 等分) (84.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(3 等分) (93.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(4 等分) (69.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(5 等分) (55.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(6 等分) (46.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 13 インチ(4 等分) (82.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
ターンアラウンド 1 型	(注 3)	(注 3)
ターンアラウンド 2 型	(注 3)	(注 3)
ターンアラウンド 3 型	(注 3)	(注 3)
ターンアラウンド 4 型	(注 3)	(注 3)
チェーンストアタイプ用 (No なし)	(注 3)	(注 3)
チェーンストアタイプ用 (No あり)	(注 3)	(注 3)
チェーンストアタイプ用 1 型 (No なし)	(注 3)	(注 3)
チェーンストアタイプ用 1 型 (No あり)	(注 3)	(注 3)
チェーンストア OCR 用 (No なし)	(注 3)	(注 3)
チェーンストア OCR 用 (No あり)	(注 3)	(注 3)
チェーンストア OCR 用 1 型	(注 3)	(注 3)
チェーンストア OCR 用 2 型	(注 3)	(注 3)
菓子統一伝票 (新)	(注 3)	(注 3)
菓子統一伝票 (旧)	(注 3)	(注 3)
家電業界統一伝票 E 様式 (新)	(注 3)	(注 3)
家電業界統一伝票 E 様式 (旧)	(注 3)	(注 3)
百貨店統一伝票タイプ用買取	(注 3)	(注 3)
百貨店統一伝票タイプ用買取 (旧)	(注 3)	(注 3)
百貨店統一伝票タイプ用委託	(注 3)	(注 3)
百貨店統一伝票タイプ用 2 型	(注 3)	(注 3)
業際統一伝票	(注 3)	(注 3)
文具統一伝票	(注 3)	(注 3)
ユーザー定義サイズ	(注 3)	(注 3)

- 注 3) 左端余白／右端余白は、有効になっている「連続紙左端余白」、「カスタム用紙余白」、「連続紙セットフリー」の何れかに従った余白となります。
右端余白は、下表の通りです。

単位：mm

有効項目	右端余白	
	用紙幅が最大 印字可能領域 (345.44mm) 以下	用紙幅が最大 印字可能領域 (345.44mm) 以上
連続紙左端余白	0.00	最大印字可能 領域を超える 分は全て余白
カスタム用紙余白	用紙作成時に 設定した値	
連続紙セットフリー	11.28	

- 注 4) 下記用紙と手差しなど単票系給紙口を組み合わせたときの左右余白は、下表の通りです。

単位：mm

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
10x11 インチ	5.08	5.08
10x14 インチ	5.08	5.08
11x17 インチ	5.08	5.08
12x11 インチ	5.08	5.08
15x11 インチ	5.08	30.48
9x11 インチ	5.08	5.08

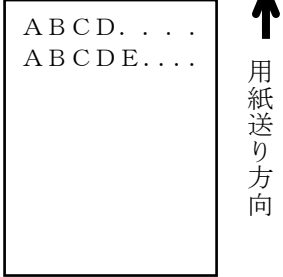
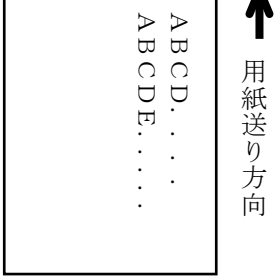
— お願い —

- 封筒を使用する場合の余白量については、『プリンター編』「第4章 用紙について」（121 ページ）の用紙規格に合わせて調整してください。
- 「縦 1 インチ(25.4mm) 連続紙」～「縦 13 インチ(4 等分)(82.6mm) 連続紙」の連続紙については、用紙幅を全て 15inch に規定しています。使用する場合には『プリンター編』「第4章 用紙について」（121 ページ）の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端余白を適宜設定してください。また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダー、フッターの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダー、フッターの位置を調節して印字してください。



印刷の向き

印字方向は、プリンタードライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようになります。

印字方向：縦	印字方向：横
	



ガイド

アプリケーションにより、Windows 画面への表示方法や印字方法が異なる場合があります。



ページの順序

複数ページの文書を印字するときの、ページ順序を設定します。
「逆」を設定すると最終ページから印字します。



ページ形式

1 ページの用紙に何ページ分印字するかの設定と、ページの境界線について設定します。



給紙方法

印字のときに、どこから用紙を給紙するかを指定します。次のいずれかを指定することができます。

設定項目	内 容
手差し	単票テーブルから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
前トラクタフィーダ(オートフィード無効)	単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクターから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
前トラクタフィーダ(オートフィード有効)	単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクターから給紙します。印字終了時にミシン目カット位置まで搬送します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
後トラクタフィーダ(オートフィード無効)	プリンター後面に装備されている用紙送りトラクターから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
後トラクタフィーダ(オートフィード有効)	プリンター後面に装備されている用紙送りトラクターから給紙します。印字終了時にミシン目カット位置まで搬送します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
前カットシートフィーダ	フロントカットシートフィーダーから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
後カットシートフィーダ	リアカットシートフィーダーから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。



ガイド

- ・プリンターの機能設定で、『ｼﾞｮｳﾀﾝｻﾞｸｼｮﾝ』を「ﾌﾘﾝﾀﾞｻﾞｸｼｮﾝ」にしているときは、「*** ｻﾞｸｼｮﾝ」で設定してある余白量になります。（『プリンター編』『第2章 プリンターの機能とその使い方』『機能設定を変える』（50 ページ参照））。正しい印字結果を得るには、プリンターの機能設定を給紙方法に合わせる必要があります。
※ “***”は、ﾅﾝなど給紙口名となります。
- ・給紙方法には、「自動選択」が追加されますが、使用する給紙口と異なった給紙方法が指定される場合があります。印字に使用する用紙に合わせ自動選択以外の給紙方法を指定してください。



メディア

印字する用紙の厚さに応じて設定します。

設定項目	内 容
自動	プリンター装置が用紙の厚さを自動的に判断します。
レンジ 1、… レンジ D	印字する用紙の厚さを指定します。
プリント設定優先	用紙の厚さは、プリンターの設定に従います。



部数・部単位

部数、部単位を設定します。
設定可能な印字部数は、1～9999 部です。



連続紙左端余白

連帳用紙の左端余白を設定します。
設定した値により、右端余白は下表の値となります。

単位：mm

設定項目	右端余白	
	用紙幅が最大印字可能領域 (345.44mm) 以下	用紙幅が最大印字可能領域 (345.44mm) 以上
0.0mm	0.0mm	最大印字可能領域を超える分は全て余白
5.0mm		
12.7mm		



上端余白

上端余白量を設定します。
初期値は 4.2mm で、設定可能な範囲は 0.0mm～51.0mm です。



カスタム用紙余白

プリントサーバーのプロパティでユーザー定義サイズ用紙を作成したときに設定した余白(上下左右)を有効にします。
プリンタードライバ規定値による余白量の違いで印字位置がずれるときは、プリントサーバーのプロパティでユーザー定義サイズ用紙を作成するときに上下左右余白を設定し、作成した用紙を選択して、本項目を「有効」にしてください。
本項目を「有効」で使用するときは、プリンターの[余白量設定]で、使用する給紙口の「上端余白量」、および「セットフリー余白量」を 0mm にしてください。取扱説明書(プリンター編)「第2章 プリンターの機能とその使いかた」-「機能設定を変える」をお読みください。



ガイド

- ・ 印字する際は、本プリンターの印字保証範囲内でお使いください。
印字保証範囲外への印字は、印字ヘッドピンが折れたり、プリンターの故障の原因となります。
印字保証外への印字が原因の故障については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
やむを得ず印字保証範囲外に印字するときは、十分な確認を行った上でお使いください。



連続紙セットフリー

本項目を「有効」にすると、連帳用紙をセットフリーで動作させるときに適切な左右余白にします。



印刷品質

印字の品位を設定します。

設定項目	内 容
高品質（両方向）	高品質モードで両方向印字を行います。
高品質（片方向）	高品質モードで片方向印字を行います。
高速（両方向）	高速モードで両方向印字を行います。
高速（片方向）	高速モードで片方向印字を行います。
低騒音（両方向）	低騒音モードで両方向印字を行います。
低騒音（片方向）	低騒音モードで片方向印字を行います。
プリンタ設定優先（両方向）	印字方向は両方向、印字品質はプリンターの設定に従います。
プリンタ設定優先（片方向）	印字方向は片方向、印字品質はプリンターの設定に従います。



排出トレイ

用紙の排出方向を設定します。

お使いの Windows オペレーティングシステムによっては、排出装置や用紙/出力、出力トレイと表示されます。

設定項目	内 容
自動排出	プリンター装置の設定に従って、用紙を排出します。
手前排出	単票テーブルに用紙を排出します。
後方排出	リアスタッカーに用紙を排出します。



濃淡

印字圧を設定します。

設定項目	内 容
標準	標準の印字圧で印字します。
高複写 1	標準よりも若干印字圧を落とし、複写能力を上げます。
高複写 2	印字速度を半分以下の落とし、2度打ちによって更に複写能力を上げます。
プリント設定優先	プリンターで設定されている印字圧に従います。



180 度回転

ページ単位で、180 度回転して印字します。



ガイド

- ・プリンターフォントやバーコードフォントで指定された文字は、近似の TrueType フォントに置換えて印字します。
- ・余白も 180 度回転します。



ユーザー定義サイズ用紙の作成方法

ここでは、ユーザー定義サイズ用紙を作成する方法について、Windows 7 Professional の画面を例に説明します。



ガイド

- ご使用の Windows のバージョンによっては、作成手順や表示内容が異なる場合があります。そのときは、表示内容に従って作成して頂くか、お使いの Windows の取扱説明書、ヘルプを参照してください。
- Windows Vista/2008 では、下記手順で〔サーバーのプロパティ〕を選択してください。
 - (1) ビルトインアカウントの Administrator や[ユーザーアカウント制御 (UAC)] を無効でログオンしているときは、〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択してください。
 - (2) Administrator グループのアカウントでログオンしているときは、〔ファイル〕メニューから〔管理者として実行〕の〔サーバーのプロパティ〕を選択してください。
〔ファイル〕メニューの〔サーバーのプロパティ〕では、ユーザー定義サイズ用紙を作成することができません。また、「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されたときは、〔続行〕をクリックしてください。
- Windows 7/Server 2008 R2 以降の Windows オペレーティングシステムで、ユーザー定義サイズ用紙を作成するときは、〔プリントサーバーのプロパティ〕の〔用紙〕タブで〔用紙設定の変更〕ボタンをクリックしてください。
- ** ビルトインアカウントの Administrator でログオンしているときや、[ユーザーアカウント制御 (UAC)] を「通知しない」設定にしているときは、本ボタンは表示されません。

1 〔スタート〕→〔デバイスプリンター〕の順にクリックする

注 1) プリンターフォルダーを開く方法は、Windows 毎に異なります。

- 2 「プリンターと FAX」 部にあるプリンタのアイコンをクリックし、メニューから「プリントサーバーのプロパティ」を選択する



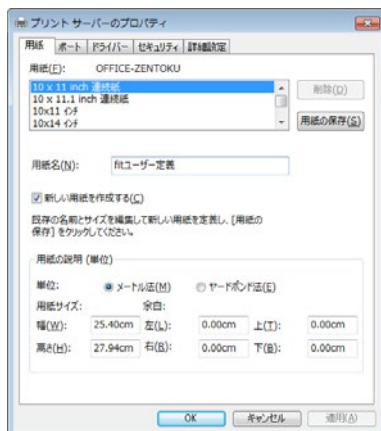
- 3 「新しい用紙を作成する」をチェックする

「用紙の説明」や「寸法」のグレーアウトが解除されます。



- 4 「用紙名」に作成する用紙名を入力する

ここでは、「fit ユーザー定義」という名前の用紙を作成します。
用紙名は、ユニークな名前を付けることができます。



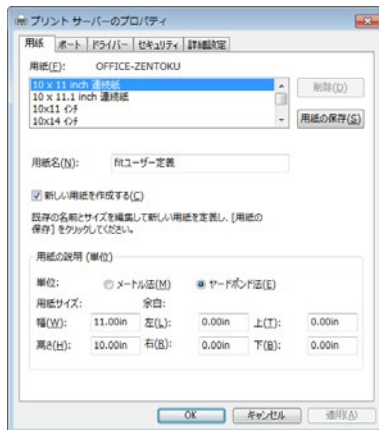
5 「単位」を選択し、用紙の幅と高さを入力する

ここでは、幅 11 インチ、高さ 10 インチの用紙を作成します。

注1) プリンタードライバ規定値による余白量の違いで印字位置がずれるときは、用紙の幅と高さの入力に合わせ、余白(上下左右)を入力します。プリンタープロパティで、作成した用紙を選択して、「カスタム用紙余白」を「有効」にしてください。

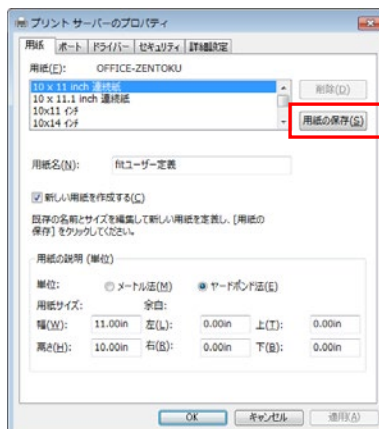
ただし、アプリケーションによっては、「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。そのときは、アプリケーションの「ページ設定」で余白を編集してください。

注2) 作成可能な用紙幅、高さについては、『プリンター編』「第4章 用紙について」、または本章の「印字可能領域」を参照してください。



6 「用紙の保存」をクリックする

「用紙名」に入力した用紙名が、「用紙」欄に追加されます。



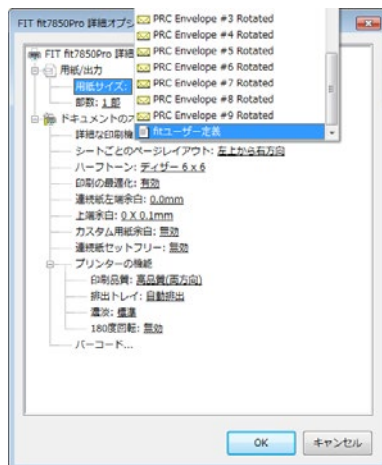
7 [OK]をクリックし、[プリントサーバーのプロパティ]を閉じます。

8 インストールされているプリンタードライバを右クリックし、〔印刷設定〕から〔詳細設定〕選択する

「用紙サイズ」に作成したユーザー定義サイズ用紙がリストされていることを確認します。

注1) 作成したユーザー定義サイズ用紙が設定可能範囲外のときは、「用紙サイズ」に表示されません。

再度、「サーバーのプロパティ」を開いて、作成したユーザー定義サイズ用紙の幅または高さを変更するか、新しい用紙を作成してください。



ガイド

- ・ 3 ページで用紙長が 10, 11, 13, 14, 16 または 17 インチになる特殊な連続帳票用紙は、ユーザー定義サイズで設定すると誤差が発生して印字ずれとなる場合がありますので、プリンタードライバで指定できる用紙サイズ（3 ページで用紙長が 14 インチなら「縦 4 2/3inch 連続紙」）を設定してください。
- ・ 用紙長はできるだけインチ単位で設定してください。
例えば用紙長 4.5 インチの連続帳票用紙において 11.4cm を用紙の高さに設定すると、プリンターのドットピッチ(1/180 インチ)に従いドットに変換され、807 ドット(Windows では少数点以下第一位切り捨て)となるため、4.5 インチ 810 ドットとは合わなくなります。



バーコードの印字方法

fit7850Pro/fit7650Pro プリンタードライバは、バーコード印字をサポートしています。

ここでは、バーコードを印字する方法を説明します。

fit7850Pro/fit7650Pro プリンタードライバをインストールすると、アプリケーションのフォント選択画面にバーコードの名前が付いたフォントが追加されます。

バーコードとして印字する文字を、バーコードフォントに指定することにより、その文字をバーコードとして印字します。

QR コードも同様の方法で印字できます。



ガイド

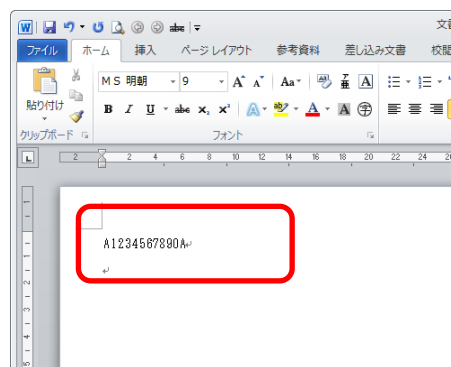
- ・お使いのアプリケーションによっては、アプリケーションのフォント選択リストにバーコードフォントが表示されない場合があります。その時は、バーコードフォントとして使用するフォントを設定(置換元フォントの指定)してから、印字してください。

1 fit7850Pro または fit7650Pro プリンタードライバをインストールする

2 アプリケーションを起動する

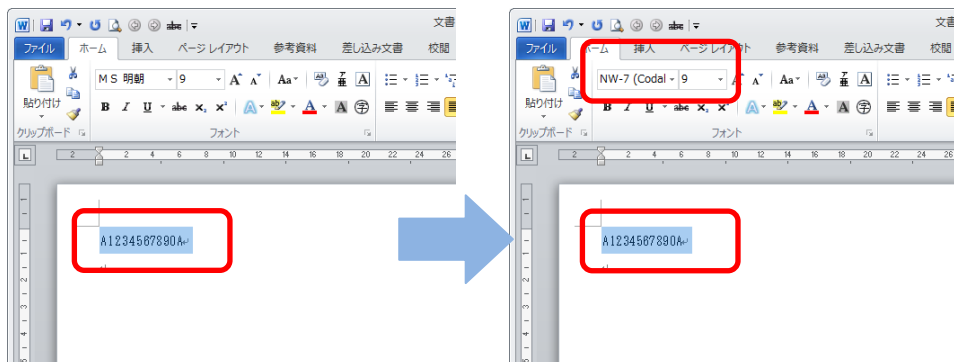
ここでは、Microsoft Word で説明します。

3 アプリケーションの編集画面で、バーコードで印字するデータを入力する



4 入力データを選択し、アプリケーションのフォント選択リストから印字するバーコードフォントを選択する

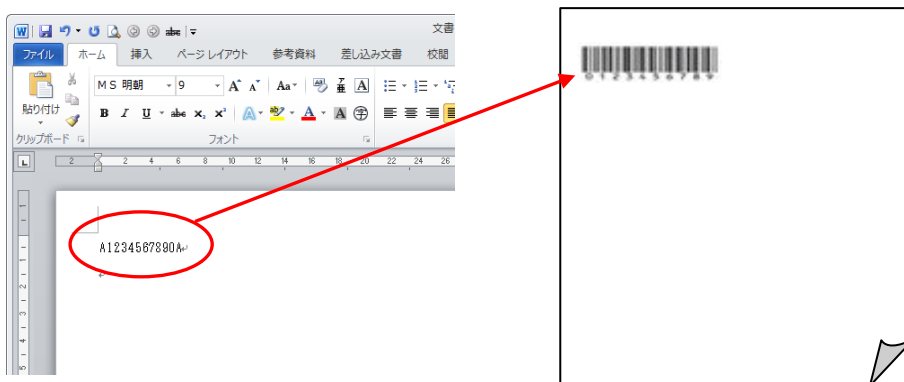
下記は、NW-7（Codabar）を選択したときの例です。



5 Microsoft Word のファイルメニューから「印刷」を選択し、印字する

バーコードに関する設定を変更するときは、アプリケーションの印刷ダイアログでプロパティ（またはプリンターのプロパティ）を選択し、プリンタードライバの印刷設定画面で設定を変更します。

アプリケーション上でバーコードフォントとして選択した文字をバーコードで印字します。

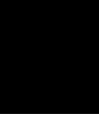
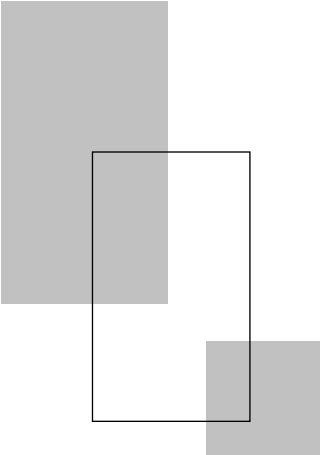


■ バーコード印字時の注意事項

バーコード印字には、下記注意事項があります。
内容を良くお読みになり、バーコード印字を行ってください。

- バーコードはプリンター装置側でドットの組合わせで印字するため、本来の規格値との間には多少の差異が生じます。
実際にバーコードリーダーで読み取らせる時は、読み取り可能か否かを十分チェックしてください。
また、印字濃度にも注意してください。
- アプリケーションの画面には、印字後のバーコードが表示されません。
バーコードと周辺の文字が重ならないよう、位置を調整してください。
- 印字領域外にかかるバーコードは印字されません。
印字結果が印字領域内となるよう、位置や文字数を調整してください。
- アプリケーション内のフォント置換により、バーコード指定したフォントが置き換わる場合があります。
- 「シートごとのページ数：1 以外」，「印刷の最適：無効」のとき、バーコード指定を行っても無効になります。
また、バーコードの印字方向は、片方向のみとなります。
- バーコードを指定したフォントに対し、修飾（太字，斜体，中抜きなど）は行わないでください。
また、縦書きや折り返しされている文字のバーコード指定は無効となります。
- アプリケーションによっては、文字列末尾の全角スペース，半角スペースを正しく通知しない場合があります。
これらのアプリケーションから、末尾に全角スペース，半角スペースを含む文字列をバーコード指定した場合、期待するバーコードと印字結果が異なる場合があります。
- 指定したバーコードが規定の文字数に満たない場合や超える場合は、正しい印字が行われません。
既定の文字数に満たないとき ： 印字は行われません。
既定の文字数を超えるとき ： 既定数までの文字列でバーコードを印字します。
- アプリケーションから EAN13, UPC type A, UPC type E バーコードを印字する時は、アプリケーションの左側印字可能領域から、4mm 以上の位置で指定して下さい。
4mm 以下の位置を指定するとフラグキャラクタが印字されません。
- Code3of9 バーコードの制限事項
 - バーコードを1行中に複数印字する場合、アプリケーションによっては、水平タブをプリンタードライバに正しく通知しない場合があります、一連のバーコードとして印字されます。その際は、バーコード間のフォント指定をMS 明朝等に変更して下さい。
 - アルファベット(A～Z)は、大文字で指定して下さい。
 - スタート、ストップコード(*)はプリンター側で自動的に付加します。

- Interleaved2of5 バーコードの制限事項
 - 指定する文字数を、偶数として下さい。
文字数が奇数の場合は、プリンター側で文字の先頭に 0 を付加して印字します。
- Code128 バーコードの制限事項
 - 文字列の先頭にスタートコード (A, B, C ※半角) を付加して下さい。
スタートコードが無い場合、Code128 バーコードは印字されません。
- QR コードの制限事項
 - QR コードは、JIS X 0510(1999) 準拠のモデル 1 およびモデル 2 となります。マイクロ QR コードは、株式会社デンソー制定のマイクロ QR となります。
 - QR コード印字中は、印字方向指定、高速印字指定、低騒音指定は無効となります。



第 3 章

fit ステータスマニタ

この章では、fit ステータスマニタについて説明します。

fit ステータスマニタのインストール	94
fit ステータスマニタの機能	94
fit ステータスマニタの起動	95
ステータス表示ウィンドウ	96



fit ステータスマニタのインストール

『ソフトウェア編』－「第1章 ソフトウェアの概要」－「fit プリンターユーティリティのインストール」をお読みください。



fit ステータスマニタの機能

ここでは、fit ステータスマニタの機能について説明します。

fit ステータスマニタは、プリンター装置の状態（ステータス）を表示するユーティリティプログラムです。

プログラム起動時は最小化（タスクトレイ内のアイコン表示）されており、印字中にエラーが発生すると、ポップアップ表示（ウィンドウ表示）します。

Windows の印字ジョブがないときは、最小化されているアイコンをポップアップさせたときにプリンターの状態を取得し、表示します。

（プリンターの状態が変わっても、fit ステータスマニタの表示は自動的に更新されません。）

■ fit ステータスマニタの起動

fit ステータスマニタをインストールすると、Windows の「スタートアップ」に登録します。

Windows を起動すると、fit ステータスマニタは自動的に起動されます。ただし、印字を実行しても、自動的に起動しません。fit ステータスマニタを利用するには、印字実行前にあらかじめ fit ステータスマニタを起動しておく必要があります。

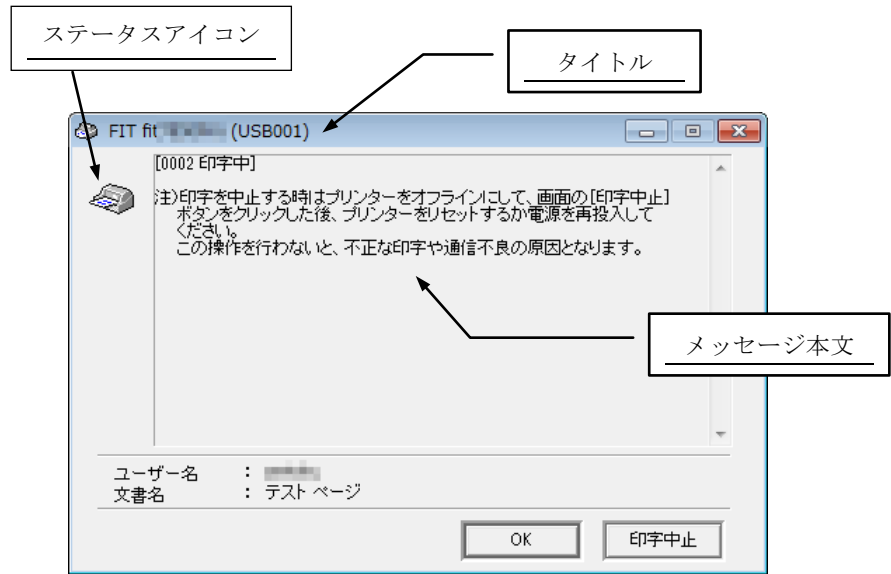
fit ステータスマニタを表示させるには、プリンターとの接続インターフェースを双方向通信に設定する必要があります。プリンタードライバで双方向通信機能を有効に設定してください。

— お願い —

- fit ステータスマニタを使用するときは、fit7850Pro、または fit7650Pro プリンターを「通常使うプリンター」に設定し、プリンタードライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- fit ステータスマニタを使用するときは、プリンターの『エラー カシキ』を「ユウコ」に設定してください。
設定方法は、『プリンター編』－「第2章 プリンターの機能とその使い方」－「機能設定を変える」（50 ページ）、または『ソフトウェア編』－「第4章 fit リモートパネル（99 ページ）」をお読みください。
- fit ステータスマニタを使用しているときに、プリンターエラーにより印字をキャンセルするときは fit ステータスマニタの〔印字中止〕ボタンをクリックしてください。
fit ステータスマニタが起動されている状態で、プリンターフォルダーから印字をキャンセルすると、その後プリンターをリセットしてもデータが削除されず、プリンターが正常に動作しなくなる時（プリンターの電源再投入で復旧）があります。

■ ステータス表示ウィンドウ

◆ ポップアップ表示

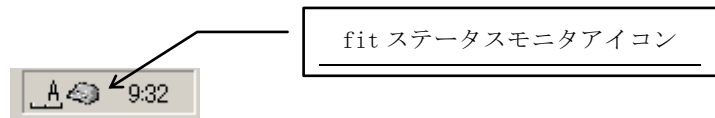


表示項目	内 容
タイトル	プリンター名(指定されているプリンターポート)
メッセージ本文 (注)	[ステータス番号 プリンター状態名] プリンター状態の説明と処置方法を表示します。
ステータスアイコン	 印字中、または印字可能状態であることを示します。(エラーなし状態)  印字中、または印字可能状態であることを示します。 (ワーニングメッセージ有り※)  エラー発生状態であることを示します。 (復旧可能なエラー)  エラー発生状態であることを示します。 (復旧不可能なエラー)  エラー発生状態であることを示します。 (ハードエラー) ※ ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ユーザー名	印字要求を行ったユーザー名を表示します。
文書名	印字中の文書名(印字ジョブ名)を表示します。

表示項目	内 容
OK ボタン	[OK] ボタンを押下することにより、本ウィンドウは最小化されタスクトレイ内にアイコンとして格納します。
印字中止ボタン	ステータス表示中の印字ジョブの印字を中止する場合に押下します。 [印字中止] ボタンを押下することにより、該当印字ジョブの印字を中止し、本ウィンドウをタスクトレイ内にアイコンとして格納します。

注) ステータス番号、プリンター状態名、プリンター状態の説明の一覧については「fit ステータスモニタ状態表示一覧表」(115 ページ)を参照してください。

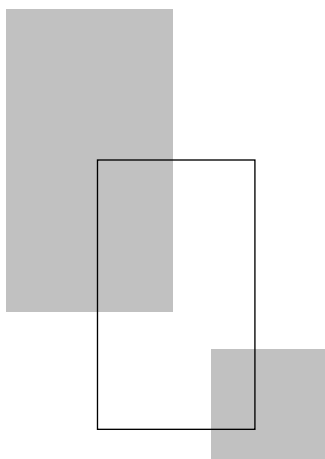
◆ アイコン表示



表示項目	内 容
ステータスアイコン	 印字中、または印字可能状態であることを示します。（エラーなし状態）  印字中、または印字可能状態であることを示します。（ワーニングメッセージ有り※）  エラー発生状態であることを示します。（復旧可能なエラー）  エラー発生状態であることを示します。（復旧不可能なエラー）  エラー発生状態であることを示します。（ハードエラー） ※ ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ツールチップ表示	マウスポインタをタスクトレイ内のステータス表示アイコンに合わせるにより、ツールチップによる動作概要表示を行います。

◆ アイコン表示時のマウス操作

- | | |
|----------------------------|--|
| 左ボタンダブルクリック | : ステータス表示をポップアップします。 |
| 右ボタンシングルクリック | : ポップアップメニューの表示を行います。メニュー内の選択項目を以下に示します。 |
| 〔元のサイズに戻す (<u>R</u>) 〕 | : マウス左ボタンダブルクリックと同じ機能です。 |
| 〔印字中止 (<u>C</u>) 〕 | : 印字中止ボタンと同じ機能です。 |
| 〔ステータス表示の終了 (<u>X</u>) 〕 | : fit ステータスマニタプログラムを終了します。 |



第 4 章

fit リモートパネル

この章では、fit リモートパネルについて説明します。

fit リモートパネルのインストール.....	100
fit リモートパネルの機能.....	100
fit リモートパネルの起動.....	101
プリンターの機能設定.....	104



fit リモートパネルのインストール

『ソフトウェア編』 「第1章 ソフトウェアの概要」－「fit プリンターユーティリティのインストール」をお読みください。



fit リモートパネルの機能

ここでは、fit リモートパネルの機能について説明します。
fit リモートパネルは、プリンターの機能設定と印字ヘッド消耗状況を管理するユーティリティソフトです。

■ fit リモートパネルの起動

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [fit7000Pro シリーズユーティリティ] → [fit7000Pro シリーズ リモートパネル] の順にクリックする



ガイド

- ・ お使いのオペレーティングシステムによっては、[スタート] → [プログラム] → [fit7000Pro シリーズユーティリティ] → [fit7000Pro シリーズリモートパネル] の順にクリックします。

- 2 プリンターを選択し、[OK] をクリックする



お願い

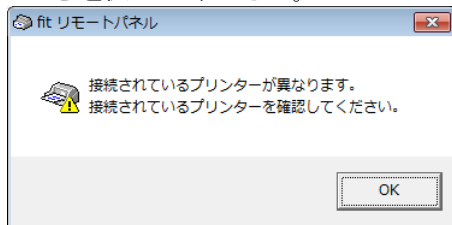
- ・ fit リモートパネルは、パラレル、USB または LAN カード（オプション：PR-LN4S 使用時）接続時に使用してください。
- ・ fit リモートパネルをお使いになるときは、プリンタードライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- ・ 以下の環境では fit リモートパネルを使用できません。
 - －プリンタードライバのポート設定が、パラレル、USB、LAN（オプション：PR-LN4S 使用時）以外の場合
 - －パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合



ガイド

- ・ fit リモートパネルがご使用いただけないプリンターには、警告マークが付加されて表示されます。警告マークの付いていないプリンターを選択してください。

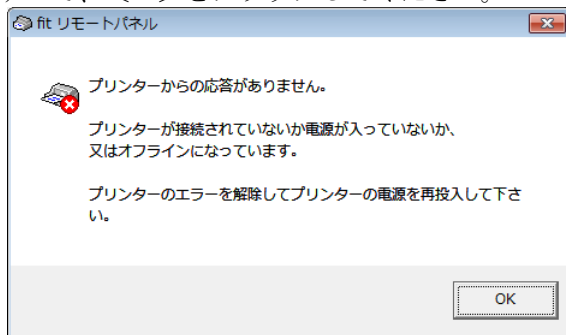
- ・ fit リモートパネル起動時に、選択したプリンターと異なるプリンターが接続されていたときは、下記メッセージが表示されます。〔OK〕をクリックして、再度接続されているプリンターを選択してください。



- ・ LAN インターフェース（オプション：PR-LN4S 使用時）で使用するときは、PR-LN4S 設定ツールで作成した LPR ポートでデフォルトのポート名（FSPrxxx.xxx.xxx.xxx（注 1））としてください。デフォルトのポート名以外に設定されている場合や IPP ポート、Windows Standard TCP/IP ポート、Windows LPR ポートでは動作しません。

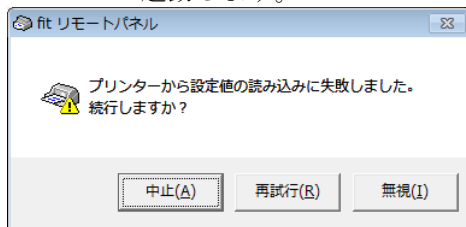
注 1：xxx.xxx.xxx.xxx には IP アドレスが入ります。

- ・ fit リモートパネルは、プログラム起動時に、プリンター装置から機能設定情報を読み込みます。プリンターからの情報読み込みに失敗すると、下記のようにメッセージが表示されますので、〔OK〕をクリックしてください。

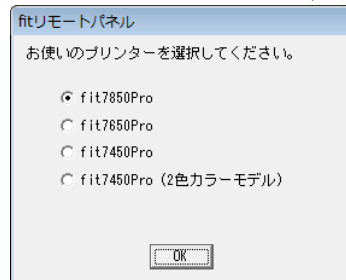


また、下記メッセージが表示されますので、ボタンを選択してください。

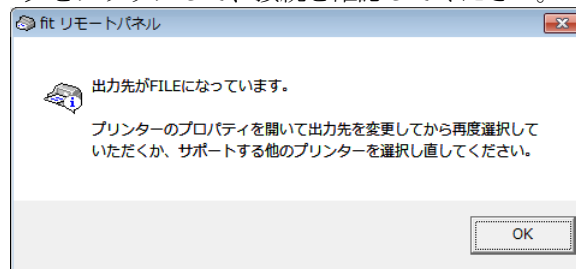
- 〔中止〕 : 使用を中止します。
- 〔再試行〕 : 情報読み込みをやり直します。
- 〔無視〕 : 情報を読み込まないで fit リモートパネルを起動します。



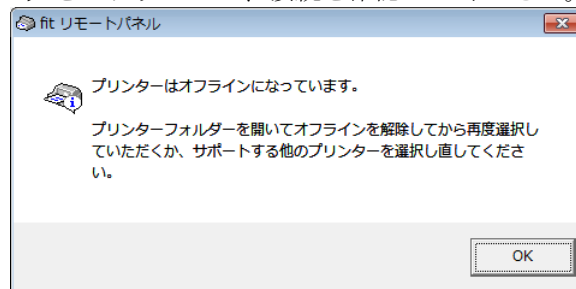
- ・〔無視〕を選択すると、下記画面が表示されます。
お使いのプリンターを選択し、〔OK〕をクリックしてください。



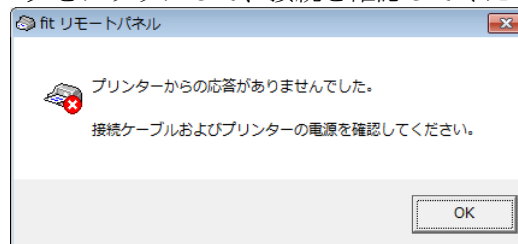
- ・接続ポートが異なるときは、下記メッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックして、接続を確認してください。



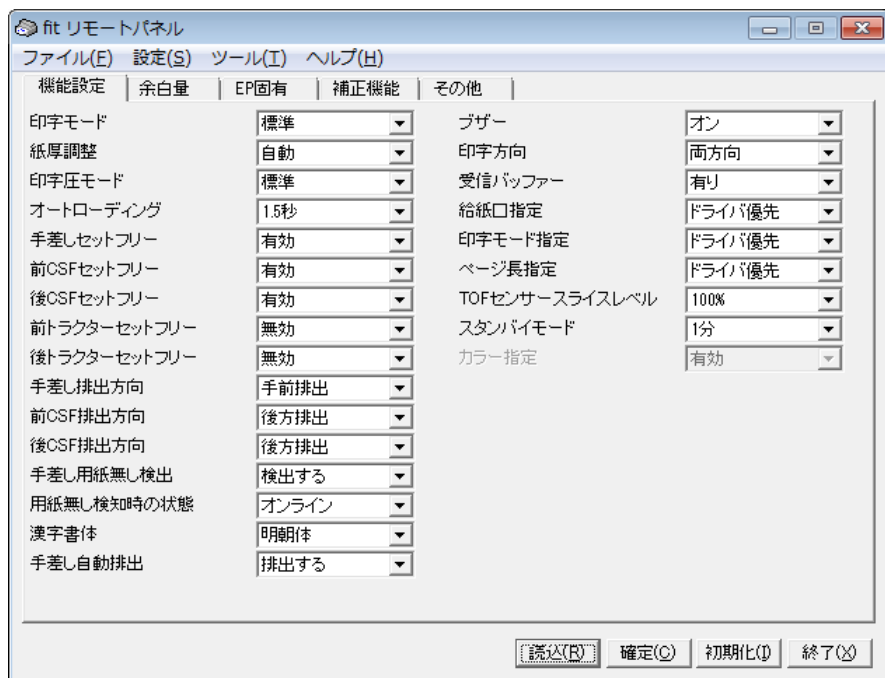
- ・USB インターフェースで接続しているとき、プリンターの電源が入っていないか、プリンターフォルダーのプリンタードライバがオフライン状態のときは、下記メッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックして、接続を確認してください。



- ・LAN インターフェース（オプション：PR-LN4S 使用時）のとき、プリンターの電源が入っていないか、接続されていないときは、下記メッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックして、接続を確認してください。



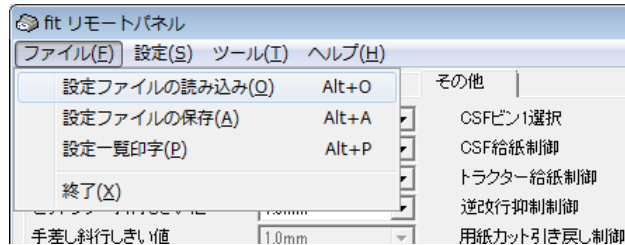
■ プリンターの機能設定



〔fit リモートパネルの起動画面〕

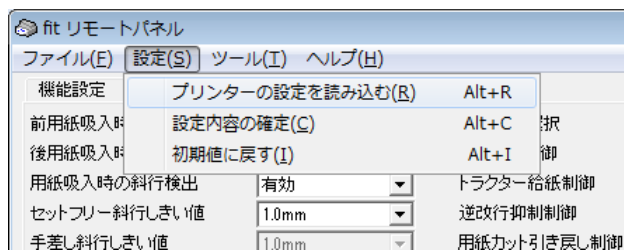
◆ メニューの説明

【ファイル】メニュー



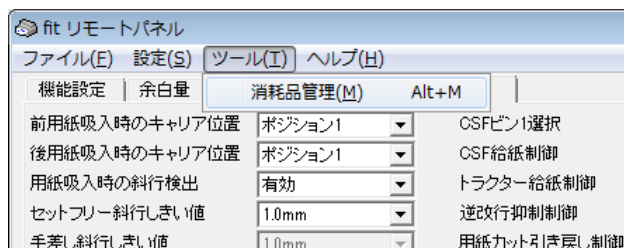
- ・ 設定ファイルの読み込み (O) Alt+O
保存されている設定値ファイルを読み込み、fit リモートパネル上の各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。
- ・ 設定ファイルの保存 (A) Alt+A
fit リモートパネル上の各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとして保存します。
- ・ 設定一覧印刷 (P) Alt+P
設定内容の一覧を印字します。
- ・ 終了 (X)
fit リモートパネルを終了します。

【設定】メニュー



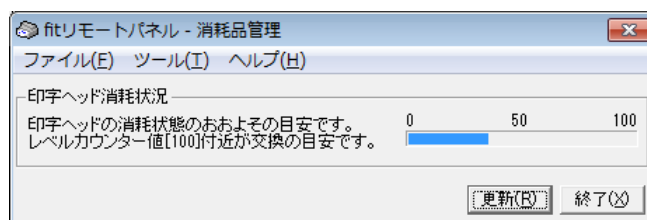
- ・ プリンターの設定を読み込む (R) Alt+R
プリンター装置から設定値を読み込み、fit リモートパネル上の各項目の設定値表示をプリンターの設定値に合わせます。
- ・ 設定内容の確定 (C) Alt+C
fit リモートパネルで設定した内容をプリンターに送信します。
- ・ 初期値に戻す (I) Alt+I
fit リモートパネル上の設定値表示を工場出荷時の値に戻します。
また、プリンター装置の設定を初期値にします。

【ツール】メニュー



- ・ 消耗品管理 (M) Alt+M

プリンター装置から、消耗品使用状況に関する情報を取得し、消耗品管理ウィンドウを表示します。



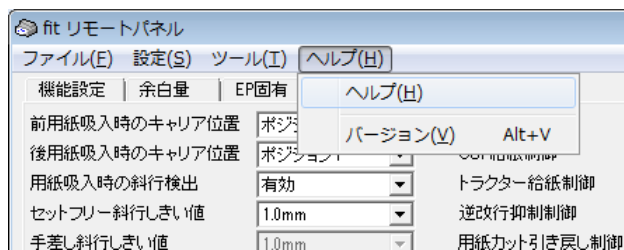
〔消耗品管理ウィンドウ〕



ガイド

- ・ 消耗品管理ウィンドウ起動時に、プリンター装置から消耗品情報を読み込みます。プリンターからの情報読み込みに失敗すると、応答無しメッセージが表示されますので、〔OK〕ボタンをクリックしてください。

【ヘルプ】メニュー



- ・ヘルプ (H)
fit リモートパネルのヘルプを起動します。
- ・バージョン (V) Alt+V
fit リモートパネルのソフトウェアバージョンを表示します。

◆ ボタンの説明

【読込 (R)】

“設定”メニューの「プリンターの設定を読み込む (R)」と同等機能です。

【確定 (C)】

“設定”メニューの「設定内容の確定 (C)」と同等機能です。

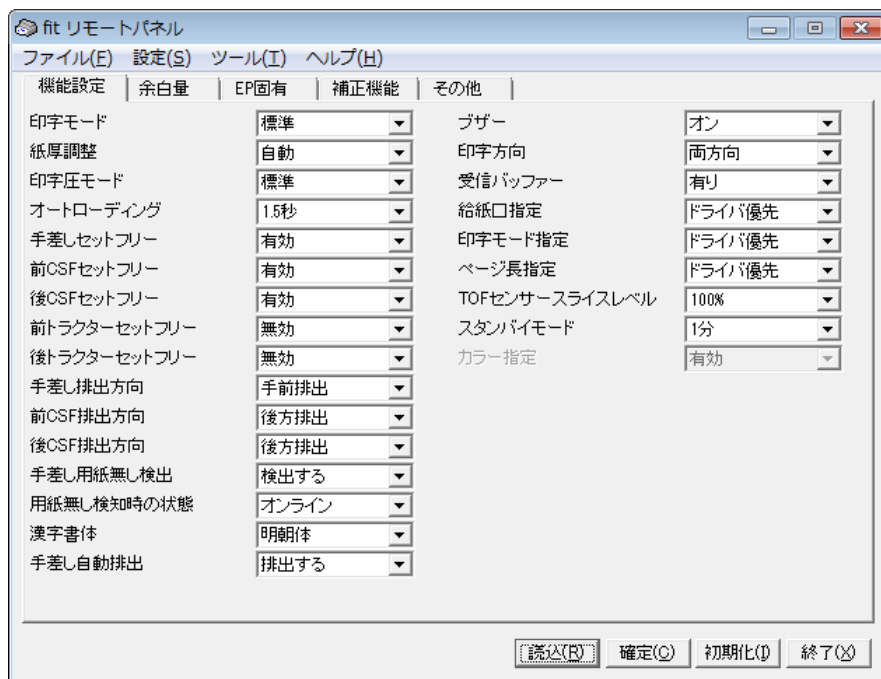
【初期化 (I)】

“設定”メニューの「初期値に戻す (I)」と同等機能です。

【終了 (X)】

fit リモートパネルプログラムを終了します。

◆ 装置機能の設定



〔装置機能〕シートでは、オートローディング（用紙吸入開始時間）や印字方向など、装置機能に関する共通項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンター編』「第2章 プリンターの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」【ソチノウ セッテイ】（56ページ）を参照してください。

◆ 余白量の設定

fit リモートパネル

ファイル(F) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

機能設定 余白量 EP固有 補正機能 その他

上端余白量指定 ドライバ優先

上端余白量

手差し	8.5mm	手差し	5.1mm
前CSF	8.5mm	前CSF	5.1mm
後CSF	8.5mm	後CSF	5.1mm
前トラクター	8.5mm	前トラクター	5.1mm
後トラクター	8.5mm	後トラクター	5.1mm
その他	0.0mm	無効時の左端位置	標準

下端余白量

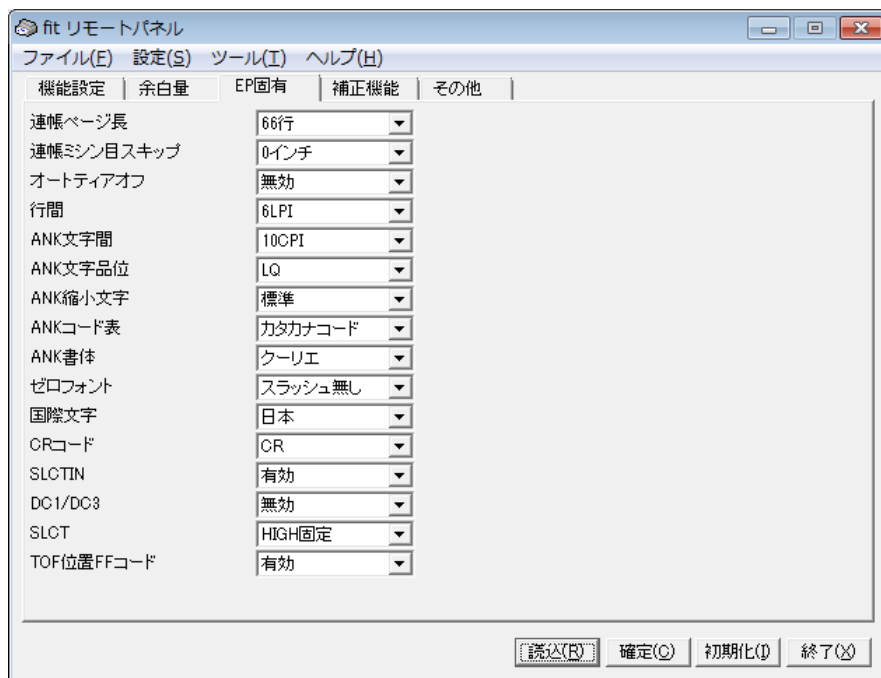
前トラクター	4.2mm
後トラクター	4.2mm

読み込(R) 確定(C) 初期化(I) 終了(X)

〔余白量〕シートでは、余白量に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンター編』「第2章 プリンターの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」【ヨハクヨウ セッテイ】（59ページ）を参照してください。

◆ EP 固有の設定



〔EP 固有〕シートでは、EP モード固有項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンター編』「第2章 プリンターの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」【EP セッテ】（62 ページ）を参照してください。

◆ 補正機能の設定



〔補正機能〕シートでは、改行補正と上端余白量補正、および下端余白量補正項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンター編』「第2章 プリンターの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」【枕付け】（64 ページ）を参照してください。

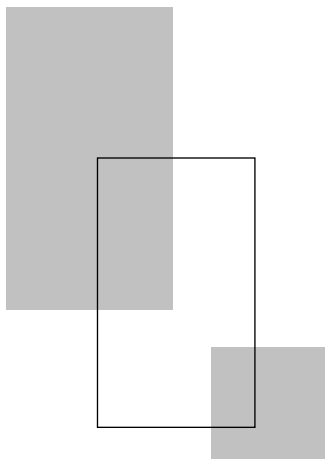
◆ その他の設定

fit リモートパネル			
ファイル(F) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)			
機能設定	余白量	EP固有	補正機能
前用紙吸入時のキャリア位置	ポジション1		
後用紙吸入時のキャリア位置	ポジション1		
用紙吸入時の斜行検出	有効		
セットフリー斜行しきい値	1.0mm		
手差し斜行しきい値	1.0mm		
単票自動オンライン	有効		
トラクター自動オンライン	無効		
単票モード時のFFコード	排出		
用紙外印字防止	有効		
用紙幅検出方式	1回検出		
前トラクター印字カット量 L	14.0mm		
前トラクター印字カット量 R	14.0mm		
後トラクター印字カット量 L	14.0mm		
後トラクター印字カット量 R	14.0mm		
単票印字カット量	2.8mm		
改行ジャム検知	有効		
		CSFピン1選択	前CSF
		CSF給紙制御	標準
		トラクター給紙制御	精度優先
		逆改行抑制制御	有効
		用紙カット引き戻し制御	速度優先
		連帳改行時リボン保護制御	無効
		CSF紙厚検出	通常
		ヘッド交換表示	有効
		エラー監視機能	有効
		電源投入時の用紙位置	現在位置
		上端ヘッド保護制御	有効

読み込み(R) 確定(O) 初期化(I) 終了(X)

〔その他〕シートでは、プリンターの制御方法に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンター編』「第2章 プリンターの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」【ソリタセッティ】（67ページ）を参照してください。



付 録

fit ステータスモニタ状態表示一覧表	116
---------------------------	-----



fit ステータスモニタ状態表示一覧表

ステータス番号	プリンター状態名	プリンター状態の説明
0000	印刷可能	印字可能です。
0002	印刷中	印字中です。
0003	印字中	他のユーザーが使用しています。
0300	オフライン	プリンターがオフラインです。
0301	用紙なし (カットシートフィーダー)	選択されているカットシートフィーダーに用紙がありません。
0302	用紙なし	用紙がありません。
0303	単票抜き取り待ち	排紙した用紙が単票テーブルに残っています。
0305	連帳後退エラー	後退させる用紙が長過ぎます。
0306	用紙吸入エラー	用紙が正しく吸入できませんでした。
0307	吸入ジャム(手差し)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0308	吸入ジャム (カットシートフィーダー)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0309	吸入ジャム (トラクターユニット)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0310	カバーオープン	トップカバーが開いています。
0402	排出ジャム(手差し)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0403	排出ジャム (カットシートフィーダー)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0404	排出ジャム (トラクターユニット)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0406	印字桁ずれ	印字の桁ずれを検出しました。
0407	用紙厚異常	このプリンターで使用できない厚さの用紙に印字しようとしています。
0408	改行ジャム	紙送り中に紙づまりが発生しました。
0409	リボン異常	リボンの異常を検出しました。
0500	通信エラー	プリンターとの通信がエラーとなりました。
0700	ROM/RAM アラーム	ROM/RAM の異常を検出しました。
0701	フレームファンアラーム	フレームファンの異常を検出しました。

ステータス番号	プリンター状態名	プリンター状態の説明
0702	斜行ユニットアラーム	斜行ユニットホームポジション検出に失敗しました。
0703	HCPP アラーム	HCPP ホームポジション検出に失敗しました。
0704	APTC アラーム	APTC ホームポジション検出に失敗しました。
0705	LRES アラーム	印字キャリアホームポジション検出に失敗しました。
0706	SP ファンアラーム	SP モーターファンの異常を検出しました。
0707	電源ファンアラーム	電源ファンの異常を検出しました。
0708	CSF モーターアラーム	CSF モータードライバの異常を検出しました。
0709	リボンモーターアラーム	リボンモータードライバの異常を検出しました。
0710	OVERLOAD アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0711	LOW VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0712	HIGH VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0713	ヘッドアラーム	印字ヘッドドライバの異常を検出しました。
0714	LF アラーム	LF モーター及びトラクターモータードライバの異常を検出しました。
0715	SP アラーム	スペースモータードライバの異常を検出しました。
1500	応答なし/通信異常	プリンターからの応答がありません。
1520	通信エラー	プリンターとの通信が異常となりました。



ガイド

エラーが発生したときは、ステータスウィンドウ内のメッセージに従って、エラーを解除してください。

索引

- I**
- 180 度回転 84
- C**
- CD-ROM の内容 11
- E**
- EP 固有の設定 111
- F**
- fit シリーズセットアップ 4
- fit シリーズセットアップを使ったとき 14
- fit ステータスモニタ状態表示一覧表 .. 116
- fit ステータスモニタのインストール... 94
- fit ステータスモニタの機能 94
- fit プリンターユーティリティ 5
- fit プリンターユーティリティの
インストール 28
- メンテナンス 33
- fit リモートパネルのインストール... 100
- fit リモートパネルの起動 101
- fit リモートパネルの機能 100
- L**
- LAN カード設定ツール 5
- W**
- Windows をアップまたは
ダウングレードするとき 52
- い**
- 印刷の向き 78
- 印刷品質 83
- 印字可能領域 70
- 印字領域 74
- インストールする前に 15
- か**
- カスタム用紙余白 82
- き**
- 起動
fit ステータスモニタ 95
- 給紙方法 79
- こ**
- こんなときは 46
- し**
- 〔詳細〕 64
- 上端余白 82
- す**
- ステータス表示ウィンドウ 96
- せ**
- 接続
パーソナルコンピュータ 9
- そ**
- 装置機能の設定 109
- その他の設定 113
- ソフトウェアのアンインストール 36
- ソフトウェアのインストール 13
- て**
- 〔デバイスの設定〕 69
- 添付ソフトウェアの機能 4
- と**
- 動作環境
添付ソフトウェア 7
- プリンター 8
- の**
- 濃淡 84
- は**
- 〔バーコード〕 67
- バーコードの印字方法 89
- 排出トレイ 83

ふ

部数・部単位	81
プリンタードライバ	5
プリンタードライバの	
アンインストール	36
インストール	14, 16
プリンタードライバの設定	58
プリンターの機能設定	104
プリンターユーティリティの	
アンインストール	43

へ

ページ形式	78
ページの順序	78

ほ

補正機能の設定	112
ボタンの説明	108
確定	108
終了	108
初期化	108
読込	108

め

メディア	81
メニューの説明	105
設定	106
ファイル	105
ヘルプ	108

ゆ

ユーザー定義サイズ用の紙の作成方法 ..	85
----------------------	----

よ

〔用紙/品質〕	63
用紙サイズ	70
余白量の設定	110

れ

〔レイアウト〕	62
連続紙左端余白	81
連続紙セットフリー	82

ドットインパクトプリンター
fit7850Pro/fit7650Pro
取扱説明書

発行日 2017 年 12 月 第 1 版
発行責任 富士通アイソテック株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。